

# 日本労働研究雑誌／総目次

501～600号

2002年4月号～2010年7月号

以下は本誌501号～600号で掲載されたものの総目次です（編集部作成）。特集のなかには、用語等の解説やエッセイ、論文要旨を多数掲載した号も含まれています。また論文等の題名の後の（\*）は投稿により掲載されたことを表します。なお、表記は掲載当時のものとしています。

## 提 言

|                                      | (筆者等) | 通巻号 | 年月号    |
|--------------------------------------|-------|-----|--------|
| 専門職としての介護                            | 袖井孝子  | 502 | 02.5   |
| 企業戦略としてのワーク・ライフ・バランス                 | 西嶋美那子 | 503 | 02.6   |
| 退職給付ビッグバン                            | 高山憲之  | 504 | 02.7   |
| 非典型労働の典型化現象                          | 古郡頼子  | 505 | 02.8   |
| 労働市場サービス産業の将来                        | 横倉 馨  | 506 | 02.9   |
| コーポレート・ガバナンスは制度間競争の時代へ               | 江頭憲治郎 | 507 | 02.10  |
| 判例の意義と限界                             | 西谷 敏  | 508 | 02.11  |
| 公務員制は入り口が大切                          | 村松岐夫  | 509 | 02.12  |
| いまこそ雇用創出戦略の本格化を                      | 島田晴雄  | 511 | 03.1   |
| 『成果主義』に触発されて                         | 尾高煌之助 | 512 | 03.2・3 |
| 「コンピテンシー」ショック                        | 今野浩一郎 | 514 | 03.5   |
| NPO 待望論の先にあるもの                       | 田尾雅夫  | 515 | 03.6   |
| 高失業率に対する危機感を                         | 白石栄司  | 516 | 03.7   |
| 日本のキャリア開発とキャリア・カウンセリング               | 横山哲夫  | 517 | 03.8   |
| 非典型労働と能力開発のジレンマ                      | 中島 豊  | 518 | 03.9   |
| 多様性の時代の「何故？」に応える——労働政策研究・研修機構発足にあたって | 小野 旭  | 519 | 03.10  |
| 今、経営に、人事部には何が求められているのか               | 浅川正健  | 520 | 03.11  |
| 高齢者雇用と年齢差別禁止                         | 手塚和彰  | 521 | 03.12  |
| 高齢化ベシミズムからの脱却                        | 神代和欣  | 523 | 04.1   |
| 労働調査の過去・現在そして未来                      | 石田光男  | 524 | 04.2・3 |
| 何が新しく、何が新しくないのか                      | 仁田道夫  | 526 | 04.5   |
| 新たな日本型労使関係システムを                      | 毛塚勝利  | 527 | 04.6   |
| 若年層の失業対策                             | 橘木俊詔  | 528 | 04.7   |
| 職務の就縛を解け                             | 小池和男  | 529 | 04.8   |
| コンプライアンスの意義と問題点                      | 小林俊治  | 530 | 04.9   |

|                       |       |     |        |
|-----------------------|-------|-----|--------|
| 見える国境・見えない国境          | 桑原靖夫  | 531 | 04.10  |
| 改革論議は事実から             | 中村圭介  | 532 | 04.11  |
| 無業者・ニート対策の基本的提言       | 工藤定次  | 533 | 04.12  |
| 企業と恋愛・結婚の自由           | 山崎文夫  | 535 | 05.1   |
| 労働法学のニューフロンティア        | 菅野和夫  | 536 | 05.2・3 |
| たしかな第三ステージを築くために      | 浅倉むつ子 | 538 | 05.5   |
| 地域から雇用を考える            | 片山善博  | 539 | 05.6   |
| キャリア開発の自己責任化と長期休暇     | 今野浩一郎 | 540 | 05.7   |
| 職務発明の取扱いと特許制度の存在意義    | 田村善之  | 541 | 05.8   |
| リカレント化する社会の高等教育は      | 天野郁夫  | 542 | 05.9   |
| 改めて個人情報保護の的確な理解を求める   | 堀部政男  | 543 | 05.10  |
| キャリア権は何をどう変えるのか       | 諏訪康雄  | 544 | 05.11  |
| 管理職って、俺のことか           | 川喜多喬  | 545 | 05.12  |
| 良いコミュニケーションは元気の素      | 大谷由里子 | 546 | 06.1   |
| 計量分析手法の発達と労働経済学       | 大橋勇雄  | 547 | 06.2・3 |
| 2007年問題の先に            | 清家 篤  | 550 | 06.5   |
| 今「データ」が再考されなければならない背景 | 篠塚英子  | 551 | 06.6   |
| 30代の悲劇                | 矢野真和  | 552 | 06.7   |
| 企業の両立支援策の価値増大を        | 樋口美雄  | 553 | 06.8   |
| 個の尊重とマインドアップが成果主義の本領  | 楠田 丘  | 554 | 06.9   |
| 「分権化」に関する企業側からの一考察    | 松井博志  | 555 | 06.10  |
| 働く市民の常識としての労働法        | 道幸哲也  | 556 | 06.11  |
| 正規・非正規雇用の二極分化から段階的統合へ | 村松久良光 | 557 | 06.12  |
| 社会変化と人間を尊重する仕事        | 堀内光子  | 558 | 07.1   |
| 後代にまで活用される労働調査を       | 八幡成美  | 559 | 07.2・3 |
| 貧困の時代相                | 荒木誠之  | 563 | 07.6   |
| 研究者＝変化を導く者⇒は責任と喜びを    | 藤田至孝  | 564 | 07.7   |
| 中庸の平等と「商業の精神」         | 稲上 毅  | 565 | 07.8   |
| 労働者概念と労働者保護の多元化を      | 佐藤博樹  | 566 | 07.9   |
| 組織の入り口管理とリテンション       | 小笹芳央  | 567 | 07.10  |
| 紛争解決の手続               | 遠藤賢治  | 568 | 07.11  |
| 「垂直の世代」か「水平の世代」か      | 猪木武徳  | 569 | 07.12  |
| M&Aで前向きの雇用制度改革を       | 佐山展生  | 570 | 08.1   |
| 労働法を知らせる              | 仁田道夫  | 572 | 08.2・3 |
| 労働力政策としての差別解消を        | 藤井龍子  | 574 | 08.5   |
| 人材と人財                 | 山田昭男  | 575 | 08.6   |
| 形成過程の中国労働法体系          | 高見澤磨  | 576 | 08.7   |
| 企業横断的な職業能力評価について      | 土田道夫  | 577 | 08.8   |
| 「ふつう」の就労              | 松井彰彦  | 578 | 08.9   |
| 労働政治の復活               | 飯尾 潤  | 579 | 08.10  |
| 労働法の判例について            | 西村健一郎 | 580 | 08.11  |
| 労働紛争の解決の「かぎ」は何か       | 野崎薫子  | 581 | 08.12  |
| 雇用の原則に立ち返る            | 高木 剛  | 582 | 09.1   |
| 労働経済学研究に求められるもの       | 大竹文雄  | 584 | 09.2・3 |
| 雇用区分の多様化と均等処遇         | 石田 真  | 586 | 09.5   |
| 外国人労働者問題を考える          | 北浦正行  | 587 | 09.6   |
| 公教育費支出の増額を            | 橘木俊詔  | 588 | 09.7   |

|                                |              |     |        |
|--------------------------------|--------------|-----|--------|
| 高年齢者が活躍できる生産職場とは               | 村松久良光        | 589 | 09.8   |
| 世界金融・経済危機とEU諸国の対応              | 鈴木宏昌         | 590 | 09.9   |
| 戦後労働運動の第3の高揚期を生み出す新たな条件が生まれている | 五十嵐仁         | 591 | 09.10  |
| 雇用労働についての「輿論」と「世論」             | 下井隆史         | 592 | 09.11  |
| 最低賃金法論議に寄せて                    | 渡辺 章         | 593 | 09.12  |
| プロフェッショナルの労働市場                 | J・マーク・ラムザイヤー | 594 | 10.1   |
| 計量的な実証研究を巡る研究基盤の整備と新しい課題       | 佐藤博樹         | 596 | 10.2・3 |
| 失業をめぐる研究の視点                    | 大久保幸夫        | 598 | 10.5   |
| ワークとライフのあいだ                    | 斎藤 修         | 599 | 10.6   |
| 『日本労働研究雑誌』600号記念号に寄せて          | 辻村江太郎        | 600 | 10.7   |

## 特 集

|  |            |     |      |
|--|------------|-----|------|
| 〈論点 雇用問題〉                                  |            | 501 | 02.4 |
| ■労働市場と技能形成                                 |            |     |      |
| 労働市場の流動化とは何か                               | 太田聰一       |     |      |
| 自然失業率は上昇しているのか                             | 原田 泰, 北浦修敏 |     |      |
| 名目賃金の下方硬直性                                 | 木村 武       |     |      |
| オークン法則は成り立っているのか                           | 黒坂佳央       |     |      |
| ダグラス＝有澤法則は有効なのか                            | 川口 章       |     |      |
| 女性の求職意欲喪失問題を考える                            | 大井方子       |     |      |
| 企業特殊なスキルとは何なのか                             | 八幡成美       |     |      |
| ITが雇用に与える影響                                | 櫻井宏二郎      |     |      |
| 開業率の低下はなぜ起きているのか                           | 竹内英二       |     |      |
| 直接投資と雇用の空洞化                                | 深尾京司       |     |      |
| 障害者雇用は量的・質的にみて、現在、どうなっているのか                | 工藤 正       |     |      |
| ■雇用システムと労使関係                               |            |     |      |
| 日本のホワイトカラーの昇進は本当に「遅い」のか                    | 八代充史       |     |      |
| ソフトウェア技術者の年齢的限界                            | 梅澤 隆       |     |      |
| 大企業の採用は本当に多様化しているのか——中途採用を重視しはじめたという通説について | 鈴木敦雄       |     |      |
| 典型の非典型による代替化は進んでいるのか                       | 佐藤 厚       |     |      |
| 労働時間は減ったのか                                 | 早見 均       |     |      |
| 解雇の経験則は今も当てはまるか                            | 駿河輝和       |     |      |
| 出向・転籍という雇用慣行——終身雇用圏と外部市場化のはざままで            | 稲上 毅       |     |      |
| 不況の前に立ち止まる高齢者雇用                            | 富田安信       |     |      |
| 変更解約告知法理は、整理解雇法理とどのように異なるのか                | 野田 進       |     |      |
| 労働者の個別労働関係法上の権利を放棄または制限する合意は有効か            | 島田陽一       |     |      |
| 労働組合は役に立っていなかったのか                          | 野田知彦       |     |      |
| 「春闘」の役割は終わったのか                             | 萩野勝彦       |     |      |
| ■賃金・昇進など処遇システム                             |            |     |      |
| 年功賃金は崩壊しているのか                              | 三谷直紀       |     |      |
| 「成果主義」とはなにぞ、本当に効果があるのか                     | 松繁寿和       |     |      |
| 「企業規模間賃金格差」分析の現状と課題                        | 岡村和明       |     |      |

|   |  |     |       |
|---|--|-----|-------|
| 男女間賃金格差は縮小したのか<br>労働者の能力を公正に評価する義務は使用者の労働契約上の義務として構成可能か<br>企業内の男女の均等処遇はどこまで進んだのか<br>男女間で昇格差別があった場合の救済方法として、女性に昇格請求権を認めることは可能か——芝信用金庫事件を通して<br>〈介護労働者の現状と課題〉                         | 中田喜文<br>三井正信<br><br>武石恵美子<br>浜田富士郎                           | 502 | 02.5  |
| 介護サービス需要増加の要因分析——介護サービス需要と介護マンパワーの長期推計に向けて<br>介護労働者の「実態と意識」および「今後の方向性の検討」<br>ホームヘルパーの職務遂行能力<br>〈ワーク・ライフ・バランスを求めて〉   | 鈴木 亘<br><br>篠崎良勝<br>小笠原浩一                                    | 503 | 02.6  |
| 育児休業制度が職場で利用されるための条件と課題<br>ファミリー・フレンドリー施策と男女均等施策（*）<br>ファミリー・フレンドリー施策と組織のパフォーマンス<br>ファミリー・フレンドリーな職場と労働組合の役割<br>キャリア・ストレスとワーク・ライフ・バランス<br>〈企業年金と労働〉                                  | 脇坂 明<br>川口 章<br>坂爪洋美<br>前田正子<br>金井篤子                         | 504 | 02.7  |
| 企業年金改革と社会保障制度の方向性<br>企業年金と投資教育——アメリカでの実証分析と日本版 401(k)へのインプリケーション<br>変化しつつある雇用慣行と新しい企業年金制度<br>「企業年金」からの卒業を——本質的に異なる厚生年金基金と確定給付企業年金<br>〈非典型雇用〉  | 菊池馨実<br>小塩隆士<br><br>白杵政治<br>小島晴洋                             | 505 | 02.8  |
| 非典型雇用の国際比較——日本・アメリカ・欧州諸国の概念と現状<br>非直用労働と法規制<br>〈労働市場サービス産業の未来〉  | 小倉一哉<br><br>馬渡淳一郎  | 506 | 02.9  |
| 労働市場サービス産業の現状と課題<br>労働市場サービスと法規制<br>転職支援システムとしての公的職業紹介機能<br>転職理由と経路、転職結果<br>〈コーポレート・ガバナンス改革と雇用・労働関係〉  | 佐野 哲<br>有田謙司<br>中村二郎<br>蔡 芒 錫、守島基博                           | 507 | 02.10 |
| 委員会等設置会社におけるガバナンスの法的枠組み<br>コーポレート・ガバナンス論の労働法学に問いかけるもの——従業員利益を守るとはどういうことか？<br>コーポレート・ガバナンス変革の雇用関係に与える影響<br>日本の大企業におけるコーポレート・ガバナンス改革——日立の事例<br>企業再編におけるアメリカ労働法の役割<br>〈海外の労働法制——最近の動向〉 | 神作裕之<br>大内伸哉<br><br>小佐野広<br>D. H. ウィッターカー<br><br>S. J. シュワップ | 508 | 02.11 |
| フランス労働法制改革の動向——社会的目標の実現と企業経営の自由の均衡の観点から<br>オーストラリア労働法の規制緩和——最近の動向と圧力<br>オランダにおけるワークシェアリング政策と労働市場の柔軟化  | V. ヴォキエ<br><br>ジューチョン・タン<br>G. J. J. H. ファン・フォス              |     |       |

|   |  |     |         |
|---|--|-----|---------|
| <p>〈公務員制度の改革と展望〉<br/>         経済学的視座から論点を整理する<br/>         公務員制度改革の背景と今後<br/>         公務員法と労働法の距離——公務員身分保障のあり方について<br/>         教育公務員の制度改革を考える——教育社会学者との対話を通じて<br/>         〈2002年労使関係研究会議報告——雇用・失業問題〉<br/>         もの造り現場における問題発見・解決型熟練——二極分化傾向の背景<br/>         労働者派遣と規制緩和の果たす役割<br/>         若年パートタイム・有期限雇用者の現状と問題——日本とオランダの高等教育修了者実態調査より<br/>         失業手当の受給実態<br/>         雇用調整助成金の政策効果について</p>  | <p>猪木武徳<br/>         稲継裕昭<br/>         下井康史<br/>         中村圭介</p>  | 509 | 02.12   |
| <p>雇用調整の法——なぜ解雇規制は必要なのか？<br/>         人材紹介会社における転職候補者の面接時の評価について<br/>         (論文概要)<br/>         学歴エリート女性のキャリアにおける能力や適性の役割 (論文概要)<br/>         パートと正社員の賃金格差と納得についての分析 (論文概要)<br/>         雇用継続者の条件 (論文概要)<br/>         構内請負企業の実態と今後の課題 (論文概要)<br/>         非正社員化と職場組織 (論文概要)<br/>         介護労働における労使関係 (論文概要)<br/>         中国の雇用、失業の動向をどう見るべきか<br/>         〈企業と雇用の再出発〉<br/>         倒産をめぐる労働問題と倒産労働法の課題<br/>         大手証券倒産後の再就職——年齢と技能の役割の検証<br/>         廃業経験者による開業の実態<br/>         〈労働研究の流れを変えた本・論文〉</p> | <p>中馬宏之<br/>         小嶋典明<br/>         小杉礼子<br/>         小原美紀<br/>         神林 龍, 中馬宏之,<br/>         大橋勇雄, 中村二郎,<br/>         阿部正浩<br/>         水町勇一郎<br/>         西山 昭<br/>         原 琴乃, 松繁寿和,<br/>         梅崎 修<br/>         永瀬伸子<br/>         高木朋代<br/>         木村琢磨<br/>         山口純子<br/>         関谷みのぶ<br/>         張 紀滯<br/>         毛塚勝利<br/>         松繁寿和<br/>         竹内英二</p> | 510 | 02. 特別号 |
| <p>■労働経済<br/>         ベッカー『人的資本』<br/>         ドーリンジャー＝ピオレ『内部労働市場』<br/>         E. ラジャー『定年はなぜあるのか？』<br/>         アカロフ＝イエレン『効率賃金仮説』<br/>         ミンサー＝樋口『アメリカ及び日本における賃金構造と労働移動』<br/>         カード＝クルーガー『最低賃金と雇用』</p>   | <p>堀 春彦, 勇上和史<br/>         小池和男<br/>         清家 篤<br/>         大橋勇雄<br/>         マーカス・レビック</p>   | 511 | 03.1    |
| <p>■労働法<br/>         下井隆史・保原喜志夫・山口浩一郎『労働法再入門』<br/>         菅野和夫『労働法 (初版)』<br/>         西谷敏『労働法における個人と集団』</p>  | <p>古屋 核<br/>         中嶋士元也<br/>         下井隆史<br/>         土田道夫</p>   | 513 | 03.4    |

|   |                  |     |      |
|---|------------------|-----|------|
| 菅野和夫・諏訪康雄「労働市場の変化と労働法の課題——新たなサポート・システムを求めて」 | 小嵩典明             |     |      |
| ■労使関係・労働組合                                  |                  |     |      |
| ドーア『イギリスの工場・日本の工場：労使関係の比較社会学』               | 酒向真理             |     |      |
| 小池和男『職場の労働組合と参加：労資関係の日米比較』                  | 石田光男             |     |      |
| フリーマン＝メドフ『労働組合の活路』                          | 野田知彦             |     |      |
| ジャコービィ『雇用官僚制』                               | 荒又重雄             |     |      |
| コーカン＝カツツ＝マッカーシー『米国の労使関係の変容』                 | 守島基博             |     |      |
| ■産業社会学・経営・産業心理学                             |                  |     |      |
| 安田三郎『社会移動の研究』                               | 石田 浩             |     |      |
| オトゥール『労働と生活の質』                              | 倉田良樹             |     |      |
| シャイン『キャリア・ダイナミクス』                           | 渡辺三枝子            |     |      |
| ローゼンボーム『キャリア移動』                             | 竹内 洋             |     |      |
| ウオマック＝ジョーンズ＝ルース『リーン生産方式が、世界の自動車産業をこう変える。』   | 中村圭介             |     |      |
| 〈雇用システムの変化と能力開発〉                            |                  | 514 | 03.5 |
| 企業の教育訓練投資行動の特質と規定要因                         | 大木栄一             |     |      |
| 能力開発の自己管理——雇用不安のもとでの職業能力育成を考える              | 藤村博之             |     |      |
| 能力開発法政策の課題——なぜ職業訓練・能力開発への関心が薄かったのか？         | 諏訪康雄             |     |      |
| 公共職業訓練の収入への効果                               | 黒澤昌子             |     |      |
| 〈NPOと労働〉                                    |                  | 515 | 03.6 |
| NPO活動のための法的環境整備                             | 山口浩一郎            |     |      |
| NPOの労働需要——国際および環境団体の雇用に関する実証分析（*）           | 宮本 大             |     |      |
| 〈構造的失業とその対策〉                                |                  | 516 | 03.7 |
| 構造的失業とは何か                                   | 玄田有史, 近藤絢子       |     |      |
| 人的資本の蓄積と部門間移動仮説——若年層と高齢層への影響                | 坂田 圭             |     |      |
| フローデータから見た日本の失業——1980～2000                  | 太田聡一, 照山博司       |     |      |
| 日本の構造的失業対策                                  | 大竹文雄             |     |      |
| EUの雇用戦略——構造的失業への取組み, そしてそれを超えて              | 濱口桂一郎            |     |      |
| 失業・犯罪・年齢——時系列データによるマクロ分析                    | 津島昌寛             |     |      |
| リストラが失業者および現役従業員の精神健康に及ぼす影響                 | 久田 満, 高橋美保       |     |      |
| 〈キャリア・カウンセリング〉                              |                  | 517 | 03.8 |
| 日本におけるキャリア・カウンセリングの課題——専門職「キャリアカウンセラー」の再考   | 渡辺三枝子            |     |      |
| 企業におけるキャリア・カウンセリングの課題                       | 今野能志             |     |      |
| 〈パートの基幹労働力化と新たな課題〉                          |                  | 518 | 03.9 |
| パートタイム雇用の拡大はフルタイムの雇用を減らしているのか               | 石原真三子            |     |      |
| 雇用区分の多元化と人事管理の課題——雇用区分間の均衡処遇                | 佐藤博樹, 佐野嘉秀, 原ひろみ |     |      |

|  |                                  |     |         |
|--|----------------------------------|-----|---------|
| 正規労働と非正規労働の代替・補完関係の計測——パート・アルバイトを取り上げて（*）  | 原ひろみ                             |     |         |
| パートを中心にした非正社員の均衡処遇と経営パフォーマンス   | 西本万映子,<br>今野浩一郎<br>西谷 敏          | 519 | 03.10   |
| パート労働者の均等待遇をめぐる法政策<br>〈ホワイトカラーの労働時間をめぐる最近の動向と課題〉   |                                  |     |         |
| ホワイトカラーの労働時間制度のあり方<br>人事管理の変化と裁量労働制<br>〈職場のメンタルヘルス〉  | 高田陽一<br>佐藤 厚                     | 520 | 03.11   |
| 職場のメンタルヘルスの現状と課題   |                                  |     |         |
| 健康な職場の実現<br>〈高齢者雇用と年齢差別〉   |                                  |     |         |
| 高齢者雇用の成立条件と雇用機会の創出<br>中途採用時の年齢制限緩和策について<br>諸外国における年齢差別への取組み<br>年齢差別禁止法が米国労働市場に与えた影響——米国の実証研究のサーベイ      | 荒武 優, 廣 尚典,<br>島 悟<br>今井保次       | 521 | 03.12   |
| 〈2003年労使関係研究会議報告——アジアの労働と日本  新しい国際分業体制を目指して〉   | 戎野淑子<br>北浦正行<br>櫻庭（中村）涼子<br>川口大司 | 522 | 04. 特別号 |
| 電機メーカーT社のグローバル調達の実態と課題<br>わが国企業の国際展開の実態と問題点——三洋電機の海外ビジネス展開事例   | 山近 隆<br>貫田捷雄                     |     |         |
| キヤノンのアジア展開と本社人事の取組み<br>わが国企業の国際展開の実態と問題点——基盤産業（特に金型産業）におけるアジアの状況<br>わが国の中堅・中小企業の中国展開とその課題——対中投資相談の現場から | 本間道博<br>横田悦二郎<br>菅野真一郎           |     |         |
| 中国生産の実情と問題点<br>グローバリゼーション、産業空洞化問題に対する労働組合の対応   | 中西 豊<br>草野忠義                     |     |         |
| 中国進出日系企業の人事労務上の留意点<br>アジア経済と日本の雇用問題<br>ホームヘルパーの技能——感情スキルの重要性について（論文概要）                                 | 高井伸夫<br>伊藤正一<br>西川真規子            |     |         |
| スポット的な派遣業務における労働者の評価と技能形成——フリーアナウンサーの事例を中心として（論文概要）  | 小里千寿                             |     |         |
| キャリア形成における成長の機会——マネジャーの実態調査から（論文概要）  | 西山昭彦                             |     |         |
| 中小製造業における技能者の育成と確保——産業空洞化のなかでの状況（論文概要）   | 藤本 真                             |     |         |
| 地方公務員の人事異動——A県の事例を中心に（論文概要）<br>〈労働基準法・労働者派遣法・職業安定法改正〉  | 前浦穂高                             | 523 | 04.1    |
| 2003年労基法改正と解雇・有期契約規制の新たな展開<br>職業安定法・労働者派遣法改正の意義と法的課題<br>労働法制に関する経済学的な見方<br>現場からみた労基法改正                 | 唐津 博<br>水島郁子<br>大橋勇雄<br>荻野勝彦     |     |         |

|  |  |     |      |
|--|--|-----|------|
| 労働基準法改正についての評価と問題点——労働者側弁護士<br>の立場から   | 宮里邦雄                                     | 525 | 04.4 |
| 使用者側代理人から見た解雇訴訟と労基法改正<br>(ここが知りたい・労働研究)  | 中町 誠                                     |     |      |
| ■働くことをめぐる環境<br>長期雇用システムは崩壊したのか<br>不良債権処理により倒産・失業は増加したか   | 樋口美雄<br>加藤裕己, 藤原裕行,<br>藤本和敬              | 526 | 04.5 |
| 社会保険料の事業主負担は本当に「事業主負担」なのか<br>最低賃金は賃金の有効な下支えか<br>多すぎるのか、それとも効率的か——日本の公務員<br>ハローワーク(公共職業安定所)の役割は何か   | 太田聰一<br>安部由起子<br>中村圭介<br>佐野 哲            |     |      |
| ■人材の活用<br>年功賃金はどうなるか<br>中間管理職は不要になるのか<br>成果主義は企業を活性化するか<br>女性活用は企業業績を高めるか<br>中小企業での働き方はミゼラブルか  | 清家 篤<br>佐藤 厚<br>守島基博<br>児玉直美<br>八幡成美     | 527 | 04.6 |
| ■働くということ<br>「フリーター」とは誰なのか<br>キャリアカウンセリングはどのように活用するのか<br>男性はなぜ育児休業を取得しないのか<br>ファミリーフレンドリー施策は出生率を上昇させるか<br>なぜ日本人は年休を取らないのか                         | 小杉礼子<br>宮城まり子<br>武石恵美子<br>渡邊博顕<br>小倉一哉   |     |      |
| ■働く人を守る<br>「労働者」とは誰のことか<br>努力義務規定にはいかなる意義があるのか<br>わが国の解雇法制は企業にとってどの程度厳格か<br>労働組合は本当に役立っているのか<br>労働紛争の解決において労使はいかなる役割を果たしうるか<br>(外部人材の活用拡大と新しい課題) | 吉田美喜夫<br>荒木尚志<br>黒田祥子<br>藤村博之<br>山川隆一    | 528 | 04.7 |
| 派遣労働者の人材マネジメントの課題<br>委託労働者・請負労働者の法的地位と保護——業務委託・業務請負の法的問題<br>雇用形態と企業の境界<br>(労働者代表システムの今日的課題)  | 島貫智行, 守島基博<br>鎌田耕一<br><br>林田 修           |     |      |
| 従業員代表制の経営参加度とその決定要因——計量分析<br>労働条件の変更プロセスと労働者代表の関与<br>パートタイマーの組織化と意見反映システム——同質化戦略<br>と異質化戦略<br>コーポレート・ガバナンスと労務管理の比較<br>(長期失業)                     | 加藤隆夫<br>大内伸哉<br>呉 学 殊<br><br>グレゴリー・ジャクソン | 527 | 04.6 |
| 日本の長期失業者について——時系列変化・特性・地域<br>雇用保険制度が長期失業の誘引となっている可能性<br>誰がホームレスになっているのか? ——ポスト工業社会への<br>移行と職業経験等からみたホームレスの3類型<br>失業と幸福度                          | 篠崎武久<br>小原美紀<br>岩田正美<br><br>大竹文雄         |     |      |

|   |            |     |        |
|---|------------|-----|--------|
| 〈賃金制度改革の検証〉                             |            | 529 | 04.8   |
| 新日本製鐵における賃金制度の変遷とその特質——賃金制度改革の方向を探る     | 田口和雄       |     |        |
| もう一つの評価・報酬制度改革——HRMサイバネティックスの強化にむけた取組事例 | 井川静恵, 松繁寿和 |     |        |
| 合併に伴う人事制度の統合と雇用・処遇の変化——個人データによる分析       | 久保克行       |     |        |
| 〈コンプライアンスと労働関係〉                         |            | 530 | 04.9   |
| 「内部告発」と労働法                              | 水谷英夫       |     |        |
| 内部告発の社会心理学的考察                           | 新田健一       |     |        |
| 〈外国人労働者〉                                |            | 531 | 04.10  |
| 外国人労働者問題の現状                             | 小川 誠       |     |        |
| 日本の労働力需給ギャップと外国人労働者問題                   | 後藤純一       |     |        |
| 〈若年無業——NEET〉                            |            | 533 | 04.12  |
| 若年無業者増加の実態と背景——学校から職業生活への移行の隘路としての無業の検討 | 小杉礼子       |     |        |
| 社会的排除と若年無業——イギリス・スウェーデンの対応              | 宮本みち子      |     |        |
| 大学生のキャリア選択——その心理的背景と支援                  | 安達智子       |     |        |
| 無業の若者のソーシャル・ネットワークの実態と支援の課題             | 堀有喜衣       |     |        |
| 〈2004年労働政策研究会議報告——労働政策の新たなフレームワーク〉      |            | 534 | 04.特別号 |
| 市場原理とセーフティネット                           | 八代尚宏       |     |        |
| セーフティネットは誰が張るのか——労働金庫を例として              | 猪木武徳       |     |        |
| 高齢者の雇用対策——若年者との利害調整の観点から                | 櫻庭涼子       |     |        |
| 年金をめぐる世代間利害調整                           | 高山憲之       |     |        |
| 若年者の新しいキャリアとしての「未経験者歓迎」求人と「正社員登用」機会     | 佐藤博樹       |     |        |
| 非典型雇用とキャリア形成                            | 土田道夫       |     |        |
| 制度改定による賃金構造の変化——企業内人事マイクロデータによるパネル分析    | 井川静恵       |     |        |
| 賃金制度を少子化から評価する                          | 小川 浩       |     |        |
| 〈仕事・出会い・結婚〉                             |            | 535 | 05.1   |
| 職縁結婚の盛衰と未婚化の進展                          | 岩澤美帆, 三田房美 |     |        |
| フリーターのその後——就業・所得・結婚・出産                  | 酒井 正, 樋口美雄 |     |        |
| 結婚と出産は男女の賃金にどのような影響を及ぼしているのか            | 川口 章       |     |        |
| 〈スポーツと労働〉                               |            | 537 | 05.4   |
| プロ野球と労働市場                               | 橘木俊詔       |     |        |
| メジャーリーグ (MLB) におけるプロ選手の法的地位             | 川井圭司       |     |        |
| プロスポーツ選手の労働者性                           | 永野秀雄       |     |        |
| プロ野球監督の能力                               | 大竹文雄, 安井健悟 |     |        |
| サッカーと労働                                 | 小池和男       |     |        |
| 大相撲の報酬制度に学ぶ                             | 中島隆信       |     |        |
| ゴルフの経済学                                 | 勇上和史       |     |        |
| スーパースターの経済学                             | 大橋勇雄       |     |        |
| 企業がスポーツチームを持つべきか                        | 佐々木勝       |     |        |
| 体育会系の能力                                 | 松繁寿和       |     |        |



|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| <p>評価者負担が評価行動に与える影響——「人事マイクロ・データ」と「アンケート調査」の統計分析（*）</p> <p>イギリスの投資銀行——日系企業と非日系企業における管理職層</p> <p>〈コミュニケーション〉</p> <p>紛争解決のための組織の公正と「話し合い」の技術</p> <p>コミュニケーション・スキルの重要性</p> <p>〈2005年労働政策研究会議報告——労働紛争解決システムと労使関係〉</p> <p>個別労働紛争の決定要因</p> <p>人事管理の変化と個別労働紛争の増加</p> <p>韓国の労使紛争解決システムと労使関係</p> <p>米国における個別雇用紛争解決</p> <p>労働・雇用関係における紛争解決——ドイツの事例</p> <p>日本における労働紛争の解決——最近の展開とその背景、および将来の展望</p> <p>労働紛争解決に果たす労働組合の機能</p> <p>企業内労働紛争の解決について</p> <p>労使関係の構造面からの国際比較の枠組み提案（論文要旨）</p> <p>地方公務員給与水準の再検討——都道府県職員の給与分布集計による給与運用実態分析</p> <p>地域別統一労働協約締結に至る労使交渉過程（1961～1970年）——東京金属産業労働組合の事例</p> <p>事業再生過程における人事労務管理と雇用・労働条件の変化——事例調査をもとに</p> <p>〈芸術と労働〉</p> <p>音楽と労働——アリオ音楽財団のとりくみ</p> <p>舞妓・芸妓のキャリア</p> <p>表現教育はなぜ必要か？</p> <p>放送関連労働者派遣について</p> <p>地域づくりのサポート——アートは場所と人、人と人をつなぐ</p> <p>劇場でのしごと——滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールを例にお笑い芸人就職事情</p> <p>映画をつくる労働</p> <p>アニメ産業における労働</p> <p>コンテンツ産業の労働市場</p> <p>芸能実演家の労働者性</p> <p>芸能実演家と国際労働基準</p> <p>温故知新——実演家の保護と著作権制度</p> <p>〈「2007年問題」を検証する〉</p> <p>企業の最適世代構成と人材戦略——2007年問題の経済学的分析</p> <p>技能継承と若年採用——その連関と促進策をめぐって（*）</p> <p>年齢間労働代替性と学歴間賃金格差</p> | <p>梅崎 修・中嶋哲夫</p> <p>八代充史</p> <p>奥村哲史</p> <p>大坊郁夫</p> <p>大竹文雄, 奥平寛子</p> <p>守島基博</p> <p>李 鋌</p> <p>マシユウ・W. フィン</p> <p>キン</p> <p>ウルリッヒ・ツァッハルト</p> <p>山川隆一</p> <p>逢見直人</p> <p>小島 浩, 渡邊義広</p> <p>岸田尚友</p> <p>中村博之</p> <p>南雲智映, 島西智輝,</p> <p>梅崎 修</p> <p>藤本 真</p> <p>江戸京子</p> <p>西尾久美子</p> <p>平田オリザ</p> <p>萩 昌幸</p> <p>北川フラム</p> <p>上原恵美</p> <p>増田晶文</p> <p>佐藤忠男</p> <p>勇上和史</p> <p>八木 匡</p> <p>浜村 彰</p> <p>斎藤 周</p> <p>本山雅弘</p> <p>三谷直紀</p> <p>太田聰一</p> <p>野呂沙織, 大竹文雄</p> | <p>546</p> <p>548</p> <p>549</p> <p>550</p> | <p>06.1</p> <p>06.特別号</p> <p>06.4</p> <p>06.5</p> |
|--|--|---|---|



|  |  |     |         |
|--|--|-----|---------|
| 個の自律と人材開発戦略の変化——ESとEAPを統合する<br>支援・啓発パラダイム<br>〈仕事の中の幸福〉<br>労働と幸福度<br>高齢者の就労に対する意欲分析<br>職場における快適な労働環境確保について<br>職場のメンタルヘルスに関する最近の動向とストレス対処に<br>注目した職場ストレス対策の実際<br>バーンアウト（燃え尽き症候群）——ヒューマンサービス職<br>のストレス<br>〈2006年労働政策研究会議報告——賃金制度の見直しと賃金<br>政策〉<br>合併・買収と従業員の賃金<br>鉄鋼大手企業における賃金プロファイルの接近——1960、70<br>年代<br>企業の賃金決定行動の変化とその背景   | 花田光世<br><br>佐野晋平、大竹文雄<br>福島さやか<br>小畑史子<br>大塚泰正、鈴木綾子、<br>高田未里<br>久保真人   | 558 | 07.1    |
| 成果主義と人事改革<br>従業員の報酬制度に関する認識<br>日本型賃金制度の補完性タイプの変化——日英企業のケース<br>分析から探る<br>投資銀行における賃金制度の資本国籍間比較——ロンドンと<br>東京<br>「有償ボランティア」は労働者か？——活動実態と意識の分<br>析から<br>年功賃金論における能率と生活の思想的系譜——戦時期統制<br>における賃金の議論を手がかりとして<br>日中における男女間賃金格差の差異に関する要因分解<br>〈ここにもあった労働問題〉<br>●インフラストラクチャーと労働<br>高品質な電気と停電の少なさ<br>鉄道の労働者が支える安全で正確な運行<br>ATM24時間稼働に見る「労働」<br>どこにでもある自動販売機<br>●規制と労働<br>医師や看護師の人手不足が発生していること<br>タクシー規制緩和と労働市場<br>トラック運輸産業を取り巻く環境と労働実態<br>役所に勤めたいの？<br>●人材マネジメントの中の労働<br>日本マクドナルドと人材マネジメント——顧客満足と従業員<br>満足を創出する育成システム<br>「ヤマトは我なり」——コア競争力の源泉としてのセールス<br>ドライバーのマネジメント<br>セブン・イレブンのパート、アルバイトはなぜ高収益に貢献<br>できるのか？<br>●教育と労働 | 久保克行、齋藤卓爾<br>梅崎 修、青木宏之、<br>杉山 裕<br>茨木秀行、井上裕介、<br>有馬基之、中野貴比呂<br>中村圭介<br>松繁寿和<br>須田敏子<br><br>八代充史<br><br>小野晶子<br><br>金子良事<br><br>馬 欣欣<br><br>坂田幸治<br>萩山市朗<br>久保田章市<br>市川英次<br><br>遠藤久夫<br>玄田有史<br>桜木 隆<br>中村圭介<br><br>林 有 珍、江夏幾多郎、<br>西村孝史、守島基博<br>江夏幾多郎、林 有 珍、<br>西村孝史、守島基博<br>勝見 明 | 560 | 07. 特別号 |
|  |  | 561 | 07.4    |

|  |  |            |             |
|--|--|------------|-------------|
| <p>高校が就職斡旋をすること——高校がハローワーク？<br/>         大学は本人のためだけでなく、社会のために役立っている<br/>         「リクナビ」の登場が新卒市場にもたらした光と影<br/>         キャリアカウンセリングが近年盛んになっていること<br/>         ●働く場で起きていること<br/>         日本の経営者の所得が低いこと<br/>         単身赴任を伴う転勤を従業員が受け入れていること<br/>         日本の長時間通勤<br/>         ストライキは絶滅したか？<br/>         日本の勲章<br/>         ボランティア活動の今日的課題<br/>         〈歴史は二度繰り返す？〉<br/>         歴史は繰り返すのだろうか？（特集趣旨）<br/>         I 人口減少と少子化社会<br/>         近世中期の人口減少と少子化対策<br/>         現代と近世中期の人口減少・少子化対策<br/>         II 日本企業の国際進出<br/>         日本企業の国際経営に関する歴史的考察——両大戦間期、中国における内外綿会社<br/>         見事な知的貢献<br/>         III 所得格差<br/>         所得分布の戦前と戦後を振り返る<br/>         似て非なる戦前・戦後の所得格差拡大<br/>         IV 「資産家」<br/>         戦前期「資産家」の諸活動とその背景<br/>         戦前のお金持ちの「公」意識は社会的に最適だったのか<br/>         V 身分格差の撤廃<br/>         労働者の「身分」について——工職身分格差撤廃と均等処遇<br/>         働き方の格差と処遇の格差<br/>         VI 賃金体系<br/>         賃金体系の二層構造<br/>         賃金管理の課題——唯一望ましい賃金体系は存在するのか<br/>         VII CIOの形成<br/>         CIOの形成——組織原理の対立<br/>         CTWの結成は「CIOの形成」の再版なのか<br/>         VIII 外国人労働者<br/>         日本帝国における移住朝鮮人労働者問題——論議と政策<br/>         外国人労働者受け入れ問題の今昔<br/>         IX 労働法の制定<br/>         工場法史が今に問うもの<br/>         工場法史の現代的意義<br/>         いま歴史を生きる——総括コメントの試み<br/>         〈貧困と労働〉<br/>         日本の貧困と労働に関する実証分析<br/>         日本の貧困——増える働く貧困層<br/>         最低賃金・生活保護額の地域差に関する考察</p> | <p>石田 浩<br/>         矢野眞和<br/>         豊田義博<br/>         山本公子<br/> <br/>         大竹文雄<br/>         佐藤 厚<br/>         山鹿久木<br/>         藤村博之<br/>         久保克行<br/>         小野晶子<br/> <br/>         神林 龍<br/> <br/>         高橋美由紀<br/>         高橋重郷<br/> <br/>         桑原哲也<br/> <br/>         小池和男<br/> <br/>         南 亮進<br/>         大竹文雄<br/> <br/>         谷本雅之<br/>         森 剛志<br/> <br/>         久本憲夫<br/>         川口 章<br/> <br/>         森 建資<br/>         佐藤博樹<br/> <br/>         長沼秀世<br/>         五十嵐仁<br/> <br/>         外村 大<br/>         中村二郎<br/> <br/>         渡辺 章<br/>         江口匡太<br/>         尾高煌之助<br/> <br/>         橋本俊詔、浦川邦夫<br/>         関根由紀<br/>         安部由起子、玉田桂子</p> | <p>562</p> | <p>07.5</p> |
|  |  | <p>563</p> | <p>07.6</p> |

|   |             |     |         |
|---|-------------|-----|---------|
| ワーキングプア・ボーダーライン層と生活保護制度改革の動向  | 駒村康平        |     |         |
| ホームレスの労働と健康, 自立支援の課題  | 鈴木 亘        |     |         |
| 貧困の世代間連鎖の実証研究——所得移動の観点から<br>(近年の福利厚生の変化)                                      | 佐藤嘉倫, 吉田崇   | 564 | 07.7    |
| 福利厚生の現状と今後の方向性  | 西久保浩二       |     |         |
| 企業内福利厚生への経済学的アプローチ  | 太田聰一        |     |         |
| 福利厚生と労働法上の諸問題   | 柳屋孝安        |     |         |
| 勤務時間短縮等の措置にみる両立支援の課題——企業の自主的取組みによる育児支援策の拡大に向けて<br>(労働と倫理)                     | 池田心豪        | 565 | 07.8    |
| 組織風土の属人思考と職業的使命感  | 岡本浩一        |     |         |
| 専門職集団と組織——科学者・技術者の組織への包摂と役割<br>コンフリクトを中心として                                   | 蔡 芒 錫       |     |         |
| CSR (企業の社会的責任) と労働組合<br>(雇用と自営のあいだ)   | 後藤嘉代        | 566 | 07.9    |
| 個人業務請負の実態と将来的可能性——日米比較の視点から<br>「インディペンデント・コントラクター」を中心に                        | 山田 久        |     |         |
| 派遣労働者の人事管理と労働意欲   | 島貫智行        |     |         |
| 労働者性と不完備性——労働者が保護される必要性について<br>労働保護法の「労働者」概念をめぐる解釈論と立法論——労働法学に突きつけられている重い課題   | 江口匡太        |     |         |
| 「労働者性」と多様な働き方, そして労働政策<br>(採用の変化)   | 池添弘邦        |     |         |
| 企業の人材採用の変化——景気回復後の採用行動  | 浅尾 裕        | 567 | 07.10   |
| ハローワークの窓口紹介業務とマッチングの効率性   | 永野 仁        |     |         |
| 採用時点におけるミスマッチを軽減する採用のあり方——RJP (Realistic Job Preview) を手がかりにして<br>(時代を背負う労働者) | 佐々木勝        |     |         |
| 溶けない氷河——世代効果の展望   | 堀田聰子        | 569 | 07.12   |
| 丙午世代のその後——統計から分かること   | 太田聰一, 玄田有史, |     |         |
| 誕生日と学業成績・最終学歴   | 近藤絢子        |     |         |
| 「団塊の世代」の職業キャリアのタイプおよびその就業形態<br>の選択に与える影響                                      | 赤林英夫        |     |         |
| プロスポーツ界における「黄金世代」と「谷間の世代」——<br>サッカーを例に  | 川口大司, 森 啓明  |     |         |
| (組織再編 (M&A) と雇用・人事管理・労使関係)  | 馬 欣欣        |     |         |
| 日本における敵対的買収防衛策導入の特徴——防衛策導入の<br>初期の状況  | 鍋田郁郎        | 570 | 08.1    |
| 合併・買収は従業員にとって, 悪いニュースか<br>M&A と従業員のキャリア発達                                     | 広瀬純夫        |     |         |
| (2007年労働政策研究会議報告——雇用システムの変化と労働法の再編)   | 久保克行        |     |         |
| 経済学から見た労働市場の二極化と政府の役割   | 山本 寛        | 571 | 08. 特別号 |
| 労働立法プロセスと三者構成原則   | 樋口美雄        |     |         |
| 逸脱? それとも変容? ——労働政策策定過程をめぐって   | 濱口桂一郎       |     |         |
|   | 中村圭介        |     |         |

|  |                |     |      |
|--|----------------|-----|------|
| 米国におけるコーポレート・ガバナンスの歴史の変遷とジェンダー                           | 野畑眞理子          |     |      |
| 労働者代表制論の今日的意義  | 井波 洋           |     |      |
| 韓国における期間制（有期契約）・短時間労働者保護法の制定                             | 崔 碩 桓          |     |      |
| 日本における障害を理由とする雇用差別禁止法制定の可能性——障害をもつアメリカ人法（ADA）からの示唆       | 長谷川珠子          |     |      |
| クリエイティブ人材をめぐるエージェント機能の可能性                                | 齋藤奈保           |     |      |
| 社会保険料の増加が企業の雇用に与える影響に関する分析——上場企業のパネルデータ（1984～2003年）を利用して | 金 明 中          |     |      |
| 中国における雇用調整と再就職後の賃金の男女格差——2002年中国都市家計調査を利用した実証分析          | 馬 欣欣           |     |      |
| 子育て世帯の時間構造   | 藤原眞砂           |     |      |
| 職場レベルにおける労働組合の参加的関与——S社における実証的研究                         | 願興寺智之          |     |      |
| 就業形態の多様化と企業内労働市場の変容——「ワーキングパーソン調査2006」の再分析               | 西村孝史           |     |      |
| 〈『通説』を検証する〉  |                | 573 | 08.4 |
| ●「制度」の検証   |                |     |      |
| 割増率の上昇は残業時間を減らすか？  | 佐々木勝           |     |      |
| 社会保険料の事業主負担部分は労働者に転嫁されているのか                              | 太田聡一           |     |      |
| 「定年制」を考える  | 戎野淑子           |     |      |
| ポジティブ・アクションは有効に機能しているのか                                  | 川口 章           |     |      |
| 少数組合の団体交渉権について   | 奥野 寿           |     |      |
| ●人事管理  |                |     |      |
| 成果主義は日本の賃金制度を変えたか  | 中嶋哲夫           |     |      |
| 非正社員から正社員への転換制度について                                      | 武石恵美子          |     |      |
| わが国におけるキャリア教育の課題——若干の通説的理解を見直す                           | 寺田盛紀           |     |      |
| 適性検査を活用する有効性について   | 室山晴美           |     |      |
| ●労働市場  |                |     |      |
| 人材ビジネスか、それともハローワークか——職業紹介サービスにおける国と民間の関与                 | 佐野 哲           |     |      |
| フリーターの中高齢化   | 太田 清           |     |      |
| 外国人労働力の導入  | 渡邊博頭           |     |      |
| ワークシェアリングは雇用促進に有効だったか                                    | 小倉一哉           |     |      |
| 〈雇用平等とダイバーシティ〉   |                | 574 | 08.5 |
| 雇用差別禁止法制の現状と課題   | 櫻庭涼子           |     |      |
| ドイツにおける一般平等立法の意味   | 山川和義, 和田 肇     |     |      |
| 性と人種を理由とするハラスメント——イギリスのアプローチ                             | アリソン・ウェザーフィールド |     |      |
| 男女の賃金格差解消への道筋——統計的差別の経済的不合理の理論的・実証的根拠                    | 山口一男           |     |      |
| 組織におけるダイバーシティ・マネジメント                                     | 谷口真美           |     |      |
| 〈長時間労働〉  |                | 575 | 08.6 |
| 日本の長時間労働——国際比較と研究課題                                      | 小倉一哉           |     |      |
| 日本の労働時間規制の課題——長時間労働の原因をめぐる法学的分析                          | 梶川敦子           |     |      |



|  |   |            |                |
|--|---|------------|----------------|
| <p>製品開発における派遣技術者の活用——派遣先による技能向上の機会提供と仕事意欲</p> <p>派遣労働者のキャリア形成に向けて——ヒアリング調査による考察</p> <p>製造業務請負の事例に見る業務請負適正化の課題<br/>(2008年労働政策研究会議報告——ワーク・ライフ・バランス(WLB)の現状と課題)</p> <p>WLBの定着・浸透——制度・実態ギャップと中小企業従業者の仕事特性とワーク・ライフ・バランス</p> <p>労働法が「ワーク・ライフ・バランス」のためにできること</p> <p>ワーク・ライフ・バランスを実現する職場環境——出版社A社の事例から</p> <p>WLB支援制度・基盤制度の組み合わせが決める経営パフォーマンス</p> <p>病院に勤務する看護職のワーク・ライフ・バランス支援の現状把握と今後の支援のための取り組み(論文要旨)</p>  | <p>佐野嘉秀, 高橋康二</p> <p>松浦民恵</p> <p>木村琢磨</p> <p>脇坂 明<br/>藤本哲史<br/>大内伸哉<br/>加藤純子</p> <p>西岡由美</p> <p>橋本美穂, 竹内祐子,<br/>高島有理子,<br/>関根小乃枝,<br/>廣瀬佐和子<br/>後藤嘉代</p>  | <p>583</p> | <p>09. 特別号</p> |
| <p>産業別組織における男女平等参画——UIゼンセン同盟の事例から(論文要旨)</p> <p>企業内保育所事例に見るワーク・ライフ・バランス(論文要旨)</p> <p>組織内プロフェッショナルの就業形態とキャリア意識——A社の有期雇用契約とIC(Independent Contractor)を選択したコンサルタントの事例</p> <p>職業能力開発に対する政府関与のあり方——政府関与の理論的根拠, 方法と公共職業訓練の役割</p> <p>キャリア教育からシティズンシップ教育へ?——教育政策論の現状と課題<br/>(その裏にある歴史)</p> <p>なぜ労基法では1日8時間・時間外割増率25%となったのか</p> <p>なぜ年次有給休暇の計画的付与があるのか</p> <p>なぜILOは三者構成なのか</p> <p>なぜ従業員全員が加入している組織が労働組合とならないのか</p> <p>なぜ退職金や賞与制度はあるのか</p> <p>なぜ賃金には様々な手当がつくのか</p> <p>なぜ日本型成果主義は生まれたのか</p> <p>なぜ内職にだけ家内労働法があるのか</p> <p>なぜ「名ばかり管理職」が生まれるのか</p> <p>なぜ国家公務員には労働基準法の適用がないのか</p> <p>なぜ公立学校教員に残業手当がつかないのか</p> <p>なぜ労働法は強行法なのか</p> <p>なぜ退職すれば違約金を支払わせることは禁止されているのか</p> <p>なぜ内定式は10月1日に多いのか</p> <p>なぜ職業紹介は国が行うのか</p> | <p>中村艶子</p> <p>酒井之子</p> <p>岩田克彦</p> <p>亀山俊朗</p> <p>小寫典明<br/>小倉一哉<br/>吾郷真一<br/>原 昌登</p> <p>大湾秀雄, 須田敏子<br/>笹島芳雄<br/>宮本光晴<br/>橋本陽子<br/>八代充史<br/>渡辺 賢<br/>萬井隆令<br/>米津孝司<br/>深谷信夫</p> <p>小杉礼子<br/>神林 龍</p> | <p>585</p> | <p>09.04</p>   |

|  |  |     |       |
|--|--|-----|-------|
| なぜ労働者派遣が禁止されている業務があるのか<br>〈雇用区分の多様化と転換〉  | 佐野嘉秀   | 586 | 09.5  |
| 内部労働市場における雇用区分の多様化と転換の合理性——<br>人材ポートフォリオ・システムからの考察   | 平野光俊   |     |       |
| 企業内労働市場の分化とその規定要因<br>正社員になった非正社員——内部化と転職の先に<br>若年者にとっての雇用区分の多様化と転換——その問題点と<br>課題   | 西村孝史, 守島基博<br>玄田有史<br>白井利明                         | 587 | 09.6  |
| 主婦の再就職と働き方の選択——結婚・育児等によるリタイ<br>アと職業復帰<br>〈外国人労働を考える〉   | 奥津真里   |     |       |
| 外国人労働をめぐる法政策上の課題<br>外国人労働者の受け入れは何をもたらすのか<br>外国人労働者問題の根源はどこにあるのか<br>〈教育と労働〉   | 早川智津子<br>中村二郎<br>丹野清人                              | 588 | 09.7  |
| 教育と労働と社会——教育効果の視点から<br>教育が賃金にもたらす因果的な効果について——手法のサー<br>ヴェイと新たな推定  | 矢野真和<br>安井健悟, 佐野晋平                                 |     |       |
| 専修学校卒業者の就業実態——職業教育に期待できる効果の<br>範囲を探る   | 濱中淳子   | 589 | 09.8  |
| 富山県「14歳の挑戦」にみる職場体験の現状と課題<br>女性の高学歴化——学部選択・就職・結婚<br>子どもの教育成果の決定要因<br>〈高齢者雇用〉  | 寺崎里水<br>石田潤一郎<br>小原美紀, 大竹文雄                        |     |       |
| 高齢者就業率の規定要因——定年制度, 賃金プロファイル,<br>労働組合の効果<br>定年延長と継続雇用制度——60歳以降の雇用延長と人的資<br>源管理  | 山田篤裕<br>八代充史                                       | 590 | 09.9  |
| 高齢者の就業と引退——自己選別はなぜ始動されるのか<br>年金制度改正が男性高齢者の労働供給行動に与える影響の分<br>析<br>〈ヨーロッパ労働法の現在〉   | 高木朋代<br>石井加代子, 黒澤昌子                                |     |       |
| ヨーロッパ労働法の今——解題にかえて<br>EU労働法政策の形成過程<br>EU労働法とイギリス労働法制<br>オランダの労働法制改革におけるフレキシキュリティ理念と<br>平等原則<br>EC法のイタリア労働法に及ぼした影響——保護と柔軟性  | 大内伸哉<br>濱口桂一郎<br>有田謙司<br>大和田敢太<br>マウリツィオ・デルコ<br>ンテ | 591 | 09.10 |
| 変容する「スウェーデン・モデル」?——スウェーデンにお<br>けるEC指令の国内法化と労働法<br>EC指令の国内法化によるフランス労働法制への影響<br>EU指令の影響とドイツ労働法制の現状<br>EU指令の国内法化にともなうスペイン労働法の変化——男<br>女均等待遇と有期雇用縮減への取り組みを中心に<br>〈企業別労働組合の現在と未来〉 | 両角道代<br>奥田香子<br>中内 哲<br>大石 玄                       |     |       |
| 企業別組合に何ができるか——歴史から学ぶ   | 仁田道夫   |     |       |

|  |              |     |        |
|--|--------------|-----|--------|
| 労働組合の経済効果——研究成果と課題   | 外館光則         |     |        |
| 交渉内容別に見た労使協議制度の運用とその効果——「問題探索型」労使協議制の分析（＊）                 | 梅崎 修, 南雲智映   |     |        |
| 企業別組合における非正規従業員の組織化事例の示すこと                                 | 橋元秀一         |     |        |
| 事業再生過程における労働組合の役割  | 藤本 真         | 592 | 09.11  |
| 〈「管理職」の理論と実態〉  |              |     |        |
| 中間管理職の経済理論——モニタリング機能, 情報伝達機能とミドルのジレンマ                      | 伊藤秀史, 森谷文利   |     |        |
| 次世代経営幹部候補者のキャリアと技量   | 内田恭彦         |     |        |
| 管理職の労働時間と業務量の多さ  | 小倉一哉         | 593 | 09.12  |
| 〈最低賃金〉   |              |     |        |
| 日本の最低賃金制度について——欧米の実態と議論を踏まえて                               | 大橋勇雄         |     |        |
| 最低賃金はどのように決まっているのか   | 玉田桂子         |     |        |
| 企業にとっての最低賃金——認識と対応   | 坂口尚文         |     |        |
| 最低賃金労働者の属性と最低賃金引き上げの雇用への影響                                 | 川口大司, 森 悠子   |     |        |
| アメリカ合衆国の最低賃金制度の経緯, 実態と課題                                   | 笹島芳雄         |     |        |
| フランスの最低賃金制度について  | 三谷直紀         |     |        |
| ドイツにおける最低賃金規制の内容と議論状況                                      | 根本 到         |     |        |
| 最低賃金と給付政策に関する理論的考察   | 小林 航         | 594 | 10.1   |
| 〈プロフェッショナルの労働市場〉   |              |     |        |
| 職種経験はどれだけ重要になっているのか——職種特殊的人的資本の立場から                        | 戸田淳仁         |     |        |
| 職業資格の効用をどう捉えるか   | 阿形健司         |     |        |
| 医師のキャリア形成と医師不足   | 吉田あつし        |     |        |
| 勤務医に関する労働法上の諸問題  | 水島郁子         |     |        |
| 法曹養成メカニズムの問題点について——経済学的観点から                                | 木下富夫         |     |        |
| プロフェッショナルとしての博士——博士人材の初期キャリアの現状と課題                         | 小林信一         |     |        |
| 〈2009年労働政策研究会議報告——地域雇用政策のパラダイム転換〉                          |              | 595 | 10.特別号 |
| 地域雇用政策と雇用創出の実態   | 伊藤 実         |     |        |
| 親の失業が新生児の健康状態に与える影響  | 小原美紀, 大竹文雄   |     |        |
| 地域における理工系人材の雇用の場としての製品開発型中小企業——京滋地域企業の調査結果を用いて             | 児玉俊洋         |     |        |
| 改革が進む欧州各国の職業教育訓練と日本——日本においても職業教育訓練の総合的強化が急務                | 岩田克彦         |     |        |
| ものづくり現場における技能者育成方法の変化——「OJT中心・Off-JT補完型」から「OJT・Off-JT併用型」へ | 藤本 真, 大木栄一   |     |        |
| フランスにおける派遣社員に対する職業能力開発支援——その運用上の実態と課題～聞き取り調査結果より（論文要旨）     | 中道麻子         |     |        |
| ホワイトカラーの学習・熟達を促す人材育成の方法と人事・人材開発部門に求められる機能                  | 齊藤弘通         |     |        |
| 経済のグローバル化にともなう労働力の非正規化の要因と政府の対応の日韓比較                       | 大沢真知子, 金 明 中 |     |        |
| 長時間労働の解消に向けた一考察（論文要旨）                                      | 利根川恵美        |     |        |
| 公契約の現状と課題, 解決策について（論文要旨）                                   | 森原琴恵         |     |        |

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| <p>労働市場における労働者派遣法の現代的役割——雇用保障と均等待遇をめぐるオランダ法、ドイツ法からの示唆<br/>アメリカ合衆国の非移民に関する一時的労働証明制度とその日本法への示唆<br/>〈初学者に語る労働問題〉</p> <p>●マクロ経済環境と労働問題<br/>1990年代以降の労働市場と失業率の上昇<br/>雇用調整<br/>社会的排除——ワーキングプアを中心に<br/>大学の就職支援・キャリア形成支援</p> <p>●労働政策<br/>賃金カーブと生産性<br/>最低賃金引き上げのインパクト</p> <p>●制度的環境（法、規制、監督）<br/>ヒマからクビへ——法と経済の視点から解雇を考える<br/>労働者とは誰のことか？<br/>労働時間<br/>労働基準監督署は何をするところか</p> <p>●内部労働市場<br/>雇用区分の多様化<br/>パートタイマーの基幹労働力化<br/>派遣のメリット・デメリット<br/>日本企業のコア人材のキャリア形成<br/>均等処遇と女性人材の活用<br/>日本企業のリストラと心理的契約<br/>社員格付制度の変容</p> <p>●労使関係<br/>労働組合の役割——組織率の向上について<br/>「春闘」の意味と役割、今後の課題<br/>〈失業研究の今〉<br/>2009年の失業——過去の不況と比べた特徴<br/>退職リスクに対する生活保障制度の基本構造と雇用システム<br/>失職が再就職後の賃金にもたらす影響の経済分析——先行研究の展望と今後の課題<br/>夫の「失業」にともなう家族生活の変化<br/>不況・失業と自殺の関係についての一考察</p> <p>〈ワーク・ライフ・バランスの概念と現状〉<br/>人はなぜ働くのか——古今東西の思想から学ぶ<br/>ワーク・ライフ・バランス研究——経済学的な概念と課題<br/>ワーク・ライフ・バランスに関する社会学的研究とその課題——仕事と家庭生活の両立に関する研究に着目して<br/>HRM研究の観点からみたワーク・ライフ・バランス<br/>労働法におけるワーク・ライフ・バランスの位置づけ<br/>生活時間の長期的な推移<br/>〈創刊 600号記念〉</p> <p>●労働研究を考える I</p> | <p>本庄淳志<br/>早川智津子</p> <p>照山博司<br/>太田聰一<br/>岩田正美<br/>上西充子</p> <p>児玉直美、小滝一彦<br/>安部由起子</p> <p>神林 龍<br/>大内伸哉、内藤 忍<br/>荒木尚志<br/>小畑史子</p> <p>今野浩一郎<br/>本田一成<br/>島貫智行<br/>金井壽宏<br/>大内章子<br/>服部泰宏<br/>平野光俊</p> <p>村杉靖男<br/>久谷與四郎</p> <p>玄田有史<br/>小西康之<br/>近藤絢子</p> <p>村上あかね<br/>澤田康幸、崔 允 禎、<br/>菅野早紀</p> <p>橋木俊詔<br/>大森義明<br/>池田心豪</p> <p>渡辺 峻<br/>浅倉むつ子<br/>黒田祥子</p> | <p>597</p> <p>598</p> <p>599</p> <p>600</p> | <p>10.4</p> <p>10.5</p> <p>10.6</p> <p>10.7</p> |
|--|---|---|---|

制度、イデオロギー、そして労働研究の未来

これからの労働研究について考える  
フランスの労働法研究者の視点から見た労働研究の未来  
日本の人的資本が抱える難問

ジェンダーと労働史——いくつかの方法論的提案  
未来を描いて——情報化時代の労働力

●労働研究を考える II

研究テーマの将来予測は難しい  
人事管理研究における今後の重要課題  
労働法学におけるキャリアの位置づけ——新しい法原理の探索  
高齢者の労働供給に関する分析をめぐって  
社会科学としての人材マネジメント論へ向けて  
「重要」な研究テーマとは何か

D. ヒュー・ウィッタ  
カー  
マンフレッド・ヴァイス  
フランソワ・ゴデュ  
サンフォード・M. ジャ  
コービ  
ジャネット・ハンター  
ジャニス・R. ベラーチ

大竹文雄  
佐藤博樹  
諏訪康雄

清家 篤  
守島基博  
山川隆一

## 投稿論文

高齢者雇用と人事管理システム——雇用される能力の育成  
と選抜および契約転換の合意メカニズム  
パートが正社員との賃金格差に納得しない理由とは何か

育児による女性の生涯所得減少効果の日仏比較  
非営利団体 (NPO) の賃金は低いのか——営利企業 (PO) と  
の比較を通して

大手銀行におけるホワイトカラーの昇進構造——キャリアア  
ッリーによる長期昇進競争の実証分析  
ホワイトカラーの企業内技能形成——日本の銀行業を事例と  
して

日本企業の昇進昇給システムにおける「年功」——ある大手  
企業のブルーカラー従業員に対するコーホート分析  
年齢階級間ミスマッチによる UV 曲線のシフト変化と失業率  
育児休業取得とその取得期間の決定要因について

女性就業のパネル分析——配偶者所得効果の再検証  
自己啓発が賃金に及ぼす効果の実証分析

労働組合支持に何が影響を与えるのか——労働者の権利に関  
する理解に着目して

ホワイトカラー『サービス残業』の経済的背景——労働時  
間・報酬に関する暗黙の契約

民営紹介は公営紹介よりも「効率的」か——両大戦期期の  
データによる検証

障害者雇用と市場評価——大阪府内個別企業障害者雇用状況  
開示のイベントスタディ

雇用調整における不確実性の影響について——企業パネル  
データによる実証分析

|                            |     |        |
|----------------------------|-----|--------|
| 高木朋代                       | 512 | 03.2・3 |
| 篠崎武久, 石原真三子,<br>塩川崇年, 玄田有史 | 512 | 03.2・3 |
| 西村 智                       | 515 | 03.6   |
| 宮本 大                       | 517 | 03.8   |
| 上原克仁                       | 519 | 03.10  |
| 山本 茂                       | 520 | 03.11  |
| 馬 駿                        | 524 | 04.2・3 |
| 佐々木勝                       | 524 | 04.2・3 |
| 西本真弓                       | 527 | 04.6   |
| 武内真美子                      | 527 | 04.6   |
| 吉田恵子                       | 532 | 04.11  |
| 原ひろみ, 佐藤博樹                 | 532 | 04.11  |
| 高橋陽子                       | 536 | 05.2・3 |
| 神林 龍                       | 536 | 05.2・3 |
| 長江 亮                       | 536 | 05.2・3 |
| 安井健悟                       | 536 | 05.2・3 |

|  |                     |     |        |
|--|---------------------|-----|--------|
| 男女間賃金格差は嗜好による差別が原因か  | 佐野晋平                | 540 | 05.7   |
| 成果主義導入における従業員の公正感と行動変化                                     | 開本浩矢                | 543 | 05.10  |
| パートタイマーの組織化の意義——基幹労働力化と処遇整備に注目して                           | 本田一成                | 544 | 05.11  |
| 企業別データを用いた個人請負の活用動機の分析                                     | 周 燕飛                | 547 | 06.2・3 |
| 解雇と労使協議, 経営参加  | 野田知彦                | 556 | 06.11  |
| 成果主義の導入プロセスにおける問題と対応——自動車メーカーA社における賃金制度改革からの示唆             | 樋口純平                | 556 | 06.11  |
| 新規高卒者の継続採用と人材育成方針——企業が新規高卒者を採用し続ける条件は何か                    | 原ひろみ, 佐野嘉秀,<br>佐藤博樹 | 556 | 06.11  |
| 就業二極化と性行動  | 玄田有史, 川上淳之          | 559 | 07.2・3 |
| 2度目の開業者が成功する条件——失敗経験が与えるパフォーマンスへの影響について                    | 川上淳之                | 559 | 07.2・3 |
| 鉄鋼生産職場における一般作業者の管理能力——管理的業務の遂行状況と管理能力の特徴                   | 田中真樹                | 559 | 07.2・3 |
| 大手企業における昇進・昇格と異動の実証分析                                      | 上原克仁                | 561 | 07.4   |
| 職務発明をめぐる利益調整における法の役割——アメリカ法の考察とプロセス審査への示唆                  | 坂井岳夫                | 561 | 07.4   |
| 職員・工員身分差の撤廃に至る交渉過程——「経営協議会」史料(1945~1947年)の分析               | 南雲智映, 梅崎 修          | 562 | 07.5   |
| 日本企業の能力開発——70年代前半~2000年代前半の経験から                            | 原ひろみ                | 563 | 07.6   |
| 若年無業の経済学的再検討   | 玄田有史                | 567 | 07.10  |
| 能力向上期間の決定要因  | 米田耕士                | 568 | 07.11  |
| 労働組合と離職率   | 外館光則                | 568 | 07.11  |
| パートタイマーの基幹労働力化が賃金満足度に与える影響——組織内公正性の考え方をてがかりに               | 島貫智行                | 568 | 07.11  |
| 正規——パート賃金格差と地域別最低賃金の役割——1990年~2001年                        | 安部由起子, 田中藍子         | 568 | 07.11  |
| 非正規従業員への人事諸施策の充実と正規従業員の就労意識——『労働者の働く意欲と雇用管理のあり方に関する調査』の再分析 | 江夏幾多郎               | 570 | 08.1   |
| 整理解雇判決が労働市場に与える影響  | 奥平寛子                | 572 | 08.2・3 |
| 非正社員の活用方針と雇用管理施策の効果  | 有賀 健, 神林 龍,<br>佐野嘉秀 | 577 | 08.8   |
| 両立支援制度と女性の就業二極化傾向  | 武内真美子, 大谷純子         | 578 | 08.9   |
| 企業別パネルデータによる賃金・勤続プロファイルの実証分析                               | 赤羽 亮, 中村二郎          | 580 | 08.11  |
| 前職が非正社員だった離職者の正社員への移行について                                  | 玄田有史                | 580 | 08.11  |
| プロフェッショナルのスキル形成と知識タイプ——公認会計士とクオオツの比較                       | 山本 茂                | 584 | 09.2・3 |
| 日本におけるブラジル人労働者の賃金と雇用の安定に関する考察——ポルトガル語求人データによる分析            | 橋本由紀                | 584 | 09.2・3 |
| 労働市場の二極化——ITの導入と業務内容の変化について                                | 池永肇恵                | 584 | 09.2・3 |
| 情報通信技術(ICT)が人々の就業場所に及ぼす影響——テレワークは普及しているのか?                 | 坂本有芳                | 584 | 09.2・3 |
| スポーツ活動と昇進  | 大竹文雄, 佐々木勝          | 587 | 09.6   |

|   |            |     |        |
|---|------------|-----|--------|
| 就業移動と社会保険の非加入行動の関係                                | 酒井 正       | 592 | 09.11  |
| 「賃金不払残業」と「職場の管理・働き方」・「労働時間管理」<br>——賃金不払残業発生のメカニズム | 大木栄一, 田口和雄 | 596 | 10.2・3 |
| 能力主義下における職務給・能率給——三菱電機1968年人事処遇改訂のもう一つの側面         | 鈴木 誠       | 596 | 10.2・3 |
| 新規参入者の就職活動プロセスに関する実証的研究                           | 竹内倫和, 竹内規彦 | 596 | 10.2・3 |
| 終戦直後における賃金制度の変動——「経営協議会」史料(1945~1949)の分析          | 梅崎 修, 南雲智映 | 596 | 10.2・3 |
| 介護期の退職と介護休業——連続休暇の必要性和退職の規定要因                     | 池田心豪       | 597 | 10.4   |
| 評価・賃金・仕事が労働意欲に与える影響——人事マイクロデータとアンケート調査による実証分析     | 柿澤寿信, 梅崎 修 | 598 | 10.5   |
| 危険に対するセルフセレクションと補償賃金仮説の実証分析                       | 久米功一       | 599 | 10.6   |

## 研究ノート

|                                       |                           |     |       |
|---------------------------------------|---------------------------|-----|-------|
| 〈企業年金と労働〉                             |                           |     |       |
| ドイツ企業年金改革の行方——公私の役割分担をめぐって(*)         | 渡邊絹子                      | 504 | 02.7  |
| 〈非典型雇用〉                               |                           |     |       |
| 非正社員・外部人材の活用と職場の諸問題(*)                | 木村琢磨                      | 505 | 02.8  |
| 〈公務員制度の改革と展望〉                         |                           |     |       |
| 地方公務員の昇進管理——A県の事例を中心に(*)              | 前浦穂高                      | 509 | 02.12 |
| 〈キャリア・カウンセリング〉                        |                           |     |       |
| 若年期の蓄積とキャリアの終盤——大学教育, 移動, 生え抜き役員昇進(*) | 大谷 剛, 梅崎 修,<br>松繁寿和       | 517 | 03.8  |
| 〈外部人材の活用拡大と新しい課題〉                     |                           |     |       |
| 製造分野における請負企業の事業戦略と人事管理の課題(*)          | 木村琢磨, 佐野嘉秀,<br>藤本 真, 佐藤博樹 | 526 | 04.5  |
| 電機産業における請負労働者の活用と請負適正化の課題             | 中尾和彦                      | 529 | 04.8  |
| 〈賃金制度改革の検証〉                           |                           |     |       |
| 賃金制度変更に関する労働法上の諸問題——判例分析              | 山川和義                      | 550 | 06.5  |
| 〈「2007年問題」を検証する〉                      |                           |     |       |
| 高年齢者の雇用確保措置をめぐる法的諸問題                  | 山下 昇                      | 570 | 08.1  |
| 〈組織再編(M&A)と雇用・人事管理・労使関係〉              |                           |     |       |
| 企業の組織変更時における労働法上の問題                   | 小早川真理                     | 578 | 08.9  |
| 〈障害者雇用の現状と就業支援〉                       |                           |     |       |
| 障害を持つアメリカ人法の差別禁止法としての特徴               | 畑井清隆                      | 579 | 08.10 |
| 〈労働政策を考える〉                            |                           |     |       |
| 労働政策の決定過程はどうあるべきか——審議会方式の正統性についての一試論  | 神林 龍, 大内伸哉                | 589 | 09.8  |
| 〈高年齢者雇用〉                              |                           |     |       |
| 高年法の雇用確保措置をめぐる新たな法的課題                 | 柳澤 武                      |     |       |

## 研究ノート(投稿)

|              |       |     |      |
|--------------|-------|-----|------|
| 勤労者福祉と労働時間規制 | 澤井孝一郎 | 502 | 02.5 |
| 研究開発技術者の転職希望 | 村上由紀子 | 505 | 02.8 |

|   |           |     |        |
|---|-----------|-----|--------|
| 職務パフォーマンス研究の展開——わが国への適用可能性                    | 関口倫紀      | 515 | 03.6   |
| 交替制職務の社内公募制をめぐる労使交渉——ある電機メーカーのケース             | 岩田憲治      | 519 | 03.10  |
| 米国における非正規雇用の実態                                | 高山与志子     | 524 | 04.2・3 |
| 地方公務員の人事異動——A 県の事例を中心に                        | 前浦穂高      | 524 | 04.2・3 |
| 地方自治体における職務管理——大部屋主義の再検討と目標管理の導入へ向けて          | 入江容子      | 524 | 04.2・3 |
| 短時間正社員の可能性——育児短時間勤務制度利用者への聞き取りを通して            | 松原光代      | 528 | 04.7   |
| 情報サービス産業の雇用調整と外注化                             | 奥井めぐみ     | 529 | 04.8   |
| 製薬企業における女性研究者の育成と活用——就業継続の可能性                 | 加藤豊子      | 532 | 04.11  |
| パートタイム労働者の増加がフルタイム労働者の賃金プロフィールに与える影響          | 岡村和明      | 532 | 04.11  |
| 育児休業法の規制側面——労働需要への影響に関する試論                    | 森田陽子      | 536 | 05.2・3 |
| 拡大するイタリアの民間年金制度——2004 年年金改革における退職手当と補足的保障制度   | 中益陽子      | 552 | 06.7   |
| 正規-パート間賃金格差拡大のマクロ的要因                          | 山口雅生      | 554 | 06.9   |
| 職場における信頼と信頼性——上司部下関係の観点から OJT に着目して           | 山本 茂      | 555 | 06.10  |
| 若年無業者の実像——経歴・スキル・意識                           | 本田由紀、堀田聡子 | 556 | 06.11  |
| 戦略的人的資源管理論の再検討                                | 木村琢磨      | 559 | 07.2・3 |
| 株主重視の経営を支持しているのは誰か                            | 高橋康二      | 565 | 07.8   |
| 派遣労働者のキャリアと基幹化                                | 清水直美      | 568 | 07.11  |
| 戦後型学歴身分制から能力主義的人事処遇制度へ——三菱電機の 1968 年人事処遇制度改訂  | 鈴木 誠      | 572 | 08.2・3 |
| 公共職業安定所職員の精神健康と一般職業紹介の業務ストレスナーについて            | 高橋美保      | 576 | 08.7   |
| 欧州の雇用失業統計における、長期育児休業取得者（雇用者）の取扱の違い、M 字カーブ、従業率 | 佐藤哲彰      | 576 | 08.7   |
| 日本の頭脳流出——在米日本人研究者に関する分析から                     | 村上由紀子     | 577 | 08.8   |
| 評価・賃金・仕事労働意欲に与える影響——人事マイクロデータとアンケート調査による実証分析  | 柿澤寿信、梅崎 修 | 598 | 10.5   |

## 紹介

|                                 |           |     |      |
|---------------------------------|-----------|-----|------|
| 〈介護労働者の現状と課題〉                   |           | 502 | 02.5 |
| 介護サービス労働者をめぐる法的課題——ホームヘルパーに着目して | 菅野淑子      |     |      |
| 〈非典型雇用〉                         |           | 505 | 02.8 |
| 請負労働者の急増と労働組合の対応                | 小林良暢      |     |      |
| 〈企業と雇用の再出発〉                     |           | 511 | 03.1 |
| 倒産に対する労働組合の対応と今後の課題             | 八幡次郎      |     |      |
| 〈雇用システムの変化と能力開発〉                |           | 514 | 03.5 |
| イギリス国内の失業者の再訓練に関する施策について        | 藤原絹子      |     |      |
| ドイツにおける職業訓練システムと失業者に対する職業訓練対策   | 竹内ひとみ     |     |      |
| フランスにおける失業者の職業訓練                | 林 雅彦、高津洋平 |     |      |

|  |                                |     |       |
|--|--------------------------------|-----|-------|
| 〈キャリア・カウンセリング〉<br>アウトブレースメントにおけるキャリア・コンサルティング<br>の実際と課題<br>産業界におけるキャリア・コンサルティングの内容と今後の<br>課題   | 小林智明<br>木村 周                   | 517 | 03.8  |
| 〈ホワイトカラーの労働時間をめぐる最近の動向と課題〉<br>フランスのホワイトカラー労働時間制度——オプリーとフィ<br>ヨンがわれわれに語りかけるもの<br>ホワイトカラーの労働時間に関するドイツの法規制<br>アメリカ公正労働基準法におけるホワイトカラー・イグゼン<br>プション——規則改正の動向を中心に<br>サービス残業の実態と労働組合の対応 | 水町勇一郎<br>橋本陽子<br>梶川敦子<br>鈴木不二一 | 519 | 03.10 |
| 〈職場のメンタルヘルス〉<br>いきいきとした職場を目指して   | 田原 仁                           | 520 | 03.11 |
| 〈外部人材の活用拡大と新しい課題〉<br>フリーランサー・業務委託など個人請負の働き方とマッチン<br>グシステム  | 村田弘美                           | 526 | 04.5  |
| 〈長期失業〉<br>欧米における長期失業者対策<br>長期失業者対策としての職業訓練制度の可能性——職業紹介<br>の現場から  | 勇上和史<br>鈴木敦雄                   | 528 | 04.7  |
| 〈賃金制度改革の検証〉<br>アメリカの賃金制度——伝統と革新  | 竹内一夫                           | 529 | 04.8  |
| 〈コンプライアンスと労働関係〉<br>企業倫理・コンプライアンスの実務的考察<br>CSR 経営と雇用・労働<br>企業の社会的責任と雇用・労働問題<br>コンプライアンス経営に労働組合はどう対処していくのか   | 笹本雄司郎<br>安生 徹<br>足達英一郎<br>徳山 誠 | 530 | 04.9  |
| 〈外国人労働者〉<br>技能実習生の活用実態と日本人社員との代替関係について<br>間接雇用の増加と日系人労働者<br>大韓民国における外国人雇用許可制   | 西岡由美<br>渡邊博顕<br>柳 吉 相          | 531 | 04.10 |
| 〈若年無業——NEET〉<br>若者の就業・自立を支援する政策の展開と今後の課題——無<br>業者に対する対応を中心として  | 伊藤正史, 三上明道                     | 533 | 04.12 |
| 〈仕事・出会い・結婚〉<br>スウェーデンにおける男性の働き方と子育て  | 永井暁子                           | 535 | 05.1  |
| 〈男女雇用平等と均等法〉<br>東京電力におけるポジティブ・アクションの取り組み   | 遠藤卓実                           | 538 | 05.5  |
| 〈地域雇用〉<br>自治体による就業支援としての「ジョブカフェ」の現状<br>地方自治体におけるキャリアと就業支援の実践——彩の国<br>キャリア塾について<br>「各国の地域雇用開発」に関する研究ワークショップ   | 高橋陽子<br>小島貴子<br>平田周一           | 539 | 05.6  |
| 〈長期休暇〉<br>長期休暇改革の経済的効果<br>長期休暇と精神保健——「ケ」と「ハレ」の往復運動を  | 桜本 光<br>小田 晋                   | 540 | 05.7  |

|  |                            |     |        |
|--|----------------------------|-----|--------|
| 欧州における長期休暇制度——ワーク・ライフ・バランス政策の試み<br>〈プロフェッショナルの処遇〉  | 前田信彦                       | 541 | 05.8   |
| 企業内プロフェッショナルの処遇と育成——“サラリーマン”や“OL”はどのように進化するのか<br>〈新規学卒労働市場の変容〉   | 木谷 宏                       | 542 | 05.9   |
| 大学から職業への移行に関する社会学的研究の今日的課題<br>企業は新卒採用をどのように位置づけているのか<br>クルタノシム就職活動, クルタノシム姿<br>〈労働とプライバシー・個人情報〉                  | 平沢和司<br>小笹芳史, 榊原清孝<br>本田勝裕 | 543 | 05.10  |
| 労働調査とプライバシー<br>社員の個人情報をいかに取り扱うべきか——活用と保護の事例紹介  | 松田芳郎<br>野口正明               |     |        |
| キャリア・コンサルティングと個人情報保護法の活用と保護<br>産業保健活動と従業員健康情報の取扱いについて<br>〈コミュニケーション〉   | 緒方一子<br>林 剛司               | 546 | 06.1   |
| 労使コミュニケーションの現状と課題<br>個別人事管理の進展とコミュニケーションの現状——NECにおける2WAYマネジメントの取り組み<br>組織内オンブズパーソン——健全な問題解決のためのコミュニケーション・ルート     | 藤村博之<br>松岡 猛               |     |        |
| 最近のキャリアカウンセリング研究におけるコミュニケーション<br>〈2005年労働政策研究会議報告——雇用システムと労使関係〉  | メアリー・ロウ,<br>高橋良子<br>下村英雄   | 548 | 06.特別号 |
| ブルース・E. カウフマン『労使関係のグローバルな進展——出来事, 理念とIRRA』<br>〈「2007年問題」を検証する〉   | 花見 忠                       | 550 | 06.5   |
| 団塊世代の引退による技能継承問題と雇用・人材育成——製造業の事例<br>〈あらためて「データ」について考える〉  | 久保田章市                      | 551 | 06.6   |
| データアーカイブの役割とSSJデータアーカイブの現状——実証研究における再現性を担保するために<br>〈正社員の自由時間の使い方〉  | 佐藤朋彦, 佐藤博樹                 | 552 | 06.7   |
| 公式統計に現れない隠れた副業の規模と実態<br>〈少子化と企業〉   | 門倉貴史                       | 553 | 06.8   |
| 多様な人材の能力を最大発揮しうる環境づくりに向けて——ダイキン工業(株)におけるワーク・ライフ・バランスに資する施策について<br>セイコーエプソン(株)における育児支援に関する取り組み<br>フランスの企業と「少子化対策」 | 池田久美子<br>竹内上人<br>神尾真知子     |     |        |
| 〈成果主義を検証する〉<br>コンサルタントが見た成果主義人事の15年<br>タケダの成果主義とその課題<br>〈雇用改善の明暗〉  | 山本紳也<br>高橋俊之               | 554 | 06.9   |
| 高校新卒者の就職状況——現状と課題  | 長須正明                       | 557 | 06.12  |

|   |                            |     |       |
|---|----------------------------|-----|-------|
| 売り手市場到来で新卒採用は通年化へ——学生が企業を選ぶ<br>「厳選就職」で「内定辞退」続出<br>〈仕事の中の幸福〉   | 夏目孝吉                       | 558 | 07.1  |
| 全日空労働組合における従業員の健康と社員満足に関する取<br>り組み<br>〈近年の福利厚生の変化〉  | 黒木隆志                       | 564 | 07.7  |
| 従業員の健康管理の現状と課題——最近の傾向と事例の分析<br>をふまえて<br>企業スポーツと人事労務管理<br>退職給付（企業年金）の現状と課題<br>〈労働と倫理〉                  | 村杉靖男<br>萩野勝彦<br>柏崎重人, 深澤寛晴 | 565 | 07.8  |
| 企業の社会的責任と組織風土<br>行政法における公務員倫理法の位置づけ<br>外資系企業の行動規範および流動的労働市場における人事戦<br>略<br>〈雇用と自営のあいだ〉                | 小河光生<br>下井康史<br>野尻賢司       | 566 | 07.9  |
| 「自営的」就労と建設労働の諸課題と全建総連の取組み<br>〈採用の変化〉  | 山下正人                       | 567 | 07.10 |
| 採用メディアの変化——多様化する中途採用メディア・経路<br>採用とアウトソーシング<br>大学新卒者採用における面接評価の構造<br>〈組織再編（M&A）と雇用・人事管理・労使関係〉          | 豊田義博<br>小宮健実<br>岩脇千裕       | 570 | 08.1  |
| コンサルタントが見た組織再編と人事の役割——組織再編に<br>不可欠な HR デューデリジェンス（人事精査）<br>労使関係からみた組織再編をめぐる現状と課題<br><br>〈雇用平等とダイバーシティ〉 | 山本紳也<br>戎野淑子, 呉学殊,<br>佐藤 厚 | 574 | 08.5  |
| 企業事例から学ぶダイバーシティ推進サイクル——株式会社<br>INAX と日本ビューレット・バックカード株式会社の事例から<br>〈長時間労働〉                              | 西村孝史                       | 575 | 08.6  |
| UI ゼンセン同盟における労働時間適正化への取組み<br>東京電力における労働時間適正化への取組み<br>〈職業能力評価と労働市場〉                                    | 千頭洋一<br>伊藤 篤               | 577 | 08.8  |
| OECD による PIAAC（国際成人技能調査）の開発動向<br>エグゼクティブの企業間移動における能力要件と経験<br>強い個人を創るために——電機産業職業アカデミーの取組み              | 深町珠由<br>松園 健<br>高崎レナ       | 578 | 08.9  |
| 〈障害者雇用の現状と就業支援〉<br>障害者雇用に積極的に取り組んでいる企業の事例紹介——障<br>害者雇用事例リファレンスサービスのモデル事例より<br>〈労働紛争の解決システム〉           | 中上英二                       | 581 | 08.12 |
| 実務家から見た労働紛争処理システム<br>〈派遣社員の適正なマネジメントに向けて〉   | 渡邊 岳                       | 582 | 09.1  |
| フランスにおける派遣社員への職業能力開発支援の取組み<br>〈雇用区分の多様化と転換〉   | 中道麻子                       | 586 | 09.5  |
| 正社員登用事例にみる雇用の多元化と転換の現状<br>〈外国人労働を考える〉   | 渡辺木綿子                      | 587 | 09.6  |

|   |   |                |                   |
|---|---|----------------|-------------------|
| 外国人の研修・技能実習制度見直し動向について<br>NECにおける高度外国人人材について<br>外国人労働者の雇用をめぐる相談事例——東京都の労働相談から<br>(企業別労働組合の現在と未来)<br>請負・派遣労働者に対する労働組合の対応——電機連合の取り組みと課題<br>(失業研究の今)<br>リーマン・ショック後のリストラ失業の語りを聴く——失業が本人の心理と周囲に与える影響 | 渡邊博顕<br>但田 潔<br>作地 清<br><br>新谷 信幸<br><br>廣川 進 | 591<br><br>598 | 09.10<br><br>10.5 |
|---|---|----------------|-------------------|

## インタビュー

|                          |      |     |      |
|--------------------------|------|-----|------|
| 芸能・芸術家の人材育成について——寺脇研氏にきく | 小倉一哉 | 549 | 06.4 |
|--------------------------|------|-----|------|

## 対 談

|  |   |                              |                                  |
|--|---|------------------------------|----------------------------------|
| プロ野球とストライキ<br>アイスホッケーにみる人材育成と企業経営<br>スポーツエージェントビジネスの奥にあるもの<br>お笑い芸人の人材育成・管理について<br>エンタテインメント業界における人材活用 | 花見 忠, 石寄信憲<br>中野克彦, 藤村博之<br>次原悦子, 守島基博<br>木村政雄, 藤村博之<br>内藤 篤, 菊谷達弥,<br>神林 龍 (司会)<br>大竹文雄, 橋木俊詔<br>藤村博之, 山口浩一郎 | 537<br><br>549<br>549<br>573 | 05.4<br><br>06.4<br>06.4<br>08.4 |
| 最低賃金を考える<br>ホワイトカラーの労働時間管理   |   |                              |                                  |

## ディアローグ

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| 労働判例この1年の争点<br>労働判例この1年の争点<br>労働判例この1年の争点<br>労働判例この1年の争点<br>労働判例この1年の争点<br>労働判例この1年の争点<br>労働判例この1年の争点<br>労働判例この1年の争点 | 村中孝史, 中窪裕也<br>村中孝史, 中窪裕也<br>村中孝史, 中窪裕也<br>盛 誠吾, 森戸英幸<br>盛 誠吾, 森戸英幸<br>盛 誠吾, 森戸英幸<br>島田陽一, 土田道夫<br>島田陽一, 土田道夫 | 508<br>520<br>532<br>544<br>556<br>568<br>580<br>592 | 02.11<br>03.11<br>04.11<br>05.11<br>06.11<br>07.11<br>08.11<br>09.11 |
|--|--|--|--|

## 学界展望

|                             |                            |     |        |
|-----------------------------|----------------------------|-----|--------|
| 労働経済学研究の現在——2000～02年の業績を通じて | 富田安信, 安部由起子,<br>太田聰一, 川口大司 | 512 | 03.2・3 |
| 労働調査研究の現在——2001～03年の業績を通じて  | 小杉礼子, 佐野 哲,<br>佐野嘉秀        | 524 | 04.2・3 |
| 労働法理論の現在——2002～04年の業績を通じて   | 唐津 博, 毛塚勝利,<br>奥田香子, 川田琢之  | 536 | 05.2・3 |
| 労働経済学研究の現在——2003～05年の業績を通じて | 大森義明, 神林 龍,<br>久保克行, 佐々木勝  | 547 | 06.2・3 |
| 労働調査研究の現在——2004～06年の業績を通じて  | 梅崎 修, 戎野淑子,<br>小倉一哉        | 559 | 07.2・3 |

|                             |                            |     |        |
|-----------------------------|----------------------------|-----|--------|
| 労働法理論の現在—2005～07年の業績を通じて    | 有田謙司, 奥田香子,<br>道幸哲也, 濱口桂一郎 | 572 | 08.2・3 |
| 労働経済学研究の現在——2006～08年の業績を通じて | 赤林英夫, 白井恵美子,<br>坂田 圭, 安井健悟 | 584 | 09.2・3 |
| 労働調査研究の現在——2007～09年の業績を通じて  | 呉 学 殊, 大木栄一,<br>坂爪洋美       | 596 | 10.2・3 |

## 座 談 会

|   |  |     |       |
|---|--|-----|-------|
| 平成14年版労働経済白書をめぐって——最近の雇用・失業の動向とその背景<br>NPOと「働く」意味の変容                              | 酒光一章, 樋口美雄,<br>駿河輝和, 大井方子<br>絹川正明, 浜辺哲也,<br>山岸秀雄, 玄田有史<br>藤井宏一, 武石恵美子,<br>久本憲夫, 脇坂 明 | 506 | 02.9  |
| 平成15年版労働経済白書をめぐって——経済社会の変化と働き方の多様性<br>新法人発足にあたって「政策研究」を考える——政策研究の課題と専門誌の役割        | 小野 旭, 大内伸哉,<br>大竹文雄, 藤村博之,<br>守島基博   | 515 | 03.6  |
| 仕事と生活のなかの見えない現実   | 玄田有史, 田中早苗,<br>浜田敬子  | 521 | 03.12 |
| 投稿の作法   | 川口大司, 佐藤博樹,<br>中窪裕也, 佐藤 厚<br>岩上真珠, 篠崎武久,<br>藤井宏一, 小峰隆夫                               | 523 | 04.1  |
| 平成17年版労働経済白書をめぐって——人口減少社会における労働政策の課題<br>「パネルデータ」を考える                              | 大竹文雄, 吉川 徹,<br>永瀬伸子, 樋口美雄<br>石水喜夫, 太田聡一,<br>川口大司                                     | 535 | 05.1  |
| 平成18年版労働経済白書をめぐって——就業形態の多様化と勤労者生活<br>消費者であることと財・サービスの提供者であることの二面性を考える<br>『採用』を考える | 島田尚信, 元石一雄,<br>山崎雅男, 藤村博之<br>井上直樹, 大内伸哉,<br>神林 龍, 守島基博                               | 544 | 05.11 |
| 平成19年版労働経済白書をめぐって——ワークライフバランスと雇用システム<br>派遣労働をめぐって                                 | 石水喜夫, 武石恵美子,<br>立道信吾, 永瀬伸子<br>南部靖之, 浜村 彰,<br>守島基博                                    | 545 | 05.12 |
| 平成20年版労働経済白書をめぐって——働く人の意識と雇用管理の動向<br>高年齢者雇用を考える——改正高年齢者雇用安定法施行後の働く現場から            | 石水喜夫, 伊藤 実,<br>野田 進, 守島基博<br>愛甲和弘, 石田昭浩,<br>伊藤恒雄, 戎野淑子,<br>堺 和雄, 鈴木岳生,<br>二宮大祐       | 551 | 06.6  |
| 平成21年版労働経済白書をめぐって——賃金, 物価, 雇用の動向と勤労者生活<br>労働研究の50年を振り返る——『日本労働研究雑誌』が果たしてきた役割      | 石水喜夫, 中村二郎,<br>平野光俊<br>稲上 毅, 大橋勇雄,<br>菅野和夫, 仁田道夫                                     | 569 | 07.12 |
|   |  | 573 | 08.4  |
|   |  | 582 | 09.1  |
|   |  | 589 | 09.8  |
|   |  | 594 | 10.1  |
|   |  | 600 | 10.7  |

# 書 評

|   |                   |     |        |
|---|-------------------|-----|--------|
| M. レヒナー, F. ファイファー編『労働市場政策の計量経済的評価』           | 大森義明              | 502 | 02.5   |
| 都留康編著『雇用システムの革新と変化』                           | 榊原清則              |     |        |
| OECD 編『Employment Outlook 2001』               | 武石恵美子             | 503 | 02.6   |
| 山下充著『工作機械産業の職場史 1889-1945 —— 「職人わざ」に挑んだ技術者たち』 | 佐々木聡              |     |        |
| 水町勇一郎著『労働社会の変容と再生——フランス労働法制の歴史と理論』            | 大村敦志              |     |        |
| 樋口美雄著『雇用と失業の経済学』                              | 神林 龍              | 504 | 02.7   |
| 大森真紀著『イギリス女性工場監督職の史的研究——性差と階級』                | 竹内敬子              |     |        |
| 石水喜夫著『市場中心主義への挑戦——人口減少の衝撃と日本経済』               | 吉田あつし             |     |        |
| 玄田有史著『仕事のなかの曖昧な不安——揺れる若年の現在』                  | 荻谷剛彦              | 505 | 02.8   |
| 河野穰著『自動車産業における労使関係——熱い秋をはさんだ30年』              | 小谷眞男              |     |        |
| 横山隆作著『イタリア労働運動の生成 (1892年～1911年)』              |                   |     |        |
| 佐藤郁哉著『フィールドワークの技法』                            | 田尾雅夫              |     |        |
| P. オスターマンほか著『アメリカの労働——新しい労働市場の青写真』            | 上西充子              | 506 | 02.9   |
| 日本労働研究機構編『中国国有企業改革のゆくえ——労働・社会保障システムの変容と企業組織』  | 伊藤正一              |     |        |
| 三谷直紀・脇坂明編『マイクロビジネスの経済分析——中小企業経営者の実態と雇用創出』     | 鎌田彰仁              | 507 | 02.10  |
| 日本労働研究機構編『大都市の若者の就業行動と意識——広がるフリーター経験と共感』      |                   |     |        |
| 守島基博編『21世紀の“戦略型”人事部』                          | 玄田有史              |     |        |
| 梅澤隆著『情報サービス産業の人的資源管理』                         | 角尾貞夫              |     |        |
| 今野浩一郎・佐藤博樹著『人事管理入門』                           | 鳥取部真己             | 508 | 02.11  |
| 脇坂明著『日本型ワークシェアリング』                            | 光富敏夫              | 509 | 02.12  |
| 八代充史著『管理職層の人的資源管理——労働市場論的アプローチ』               | 小西康生              |     |        |
| 道幸哲也著『不当労働行為法理の基本構造』                          | 平野光俊              | 511 | 03.1   |
| 菅野和夫著『新・雇用社会の法』                               | 秋田成就              |     |        |
| 荒木尚志著『Labor and Employment Law in Japan』      | 清家 篤              | 512 | 03.2・3 |
|   | ハインリッヒ・メンク<br>ハウス |     |        |
| R. ラボポートほか著『ワーク・ファミリー・バランスを超えて』               | 坂爪洋美              |     |        |
| 本田一成著『チェーンストアの人材開発——日本と西欧』                    | 小野晶子              |     |        |
| W. フィンレー, J. E. カバーディル著『ヘッドハンター——労働市場の仲介者』    | 鈴木敦雄              | 514 | 03.5   |
| 毛塚勝利編『個別労働紛争処理システムの国際比較』                      | 吉田美喜夫             |     |        |
| 山口浩一郎著『労災補償の諸問題』                              | 品田充儀              |     |        |

|   |       |     |        |
|---|-------|-----|--------|
| 大内伸哉著『イタリアの労働と法——伝統と改革のハーモニー』                     | 三井正信  | 515 | 03.6   |
| 小杉礼子編『自由の代償／フリーター——現代若者の就業意識と行動』                  | 佐藤 香  |     |        |
| 浅井紀子著『スキルの競争力——強いモノづくり継承のために』                     | 奥西好夫  |     |        |
| 稲上毅著『企業グループ経営と出向転籍慣行』                             | 永野 仁  | 516 | 03.7   |
| 佐藤博樹・玄田有史編『成長と人材——伸びる企業の人材戦略』                     | 三谷直紀  |     |        |
| 宮本謙介著『アジア開発最前線の労働市場』                              | 末廣 昭  |     |        |
| 土田道夫・山川隆一編『成果主義人事と労働法』                            | 緒方桂子  | 517 | 03.8   |
| 小杉礼子著『フリーターという生き方』                                | 駿河輝和  |     |        |
| 木曾順子著『インド 開発のなかの労働者——都市労働市場の構造と変容』                | 香川孝三  |     |        |
| 内閣府経済社会総合研究所『経済分析第168号——雇用創出と失業に関する実証研究』          | 岡村和明  | 518 | 03.9   |
| 佐口和郎・橋元秀一編著『人事労務管理の歴史分析』                          | 石田光男  | 519 | 03.10  |
| 脇田成著『日本の労働経済システム——成功から閉塞へ』                        | 宮内 環  |     |        |
| 王能君著『就業規則判例法理の研究——その形成・発展・妥当性・改善』                 | 山下 昇  | 520 | 03.11  |
| 品田充儀著『カナダ労災補償法改革』                                 | 嵩さやか  | 521 | 03.12  |
| 都留康著『労使関係のノンユニオン化——ミクロ的・制度的分析』                    | 野田知彦  | 523 | 04.1   |
| 川井圭司著『プロスポーツ選手の法的地位』                              | 永野秀雄  |     |        |
| 清川雪彦著『アジアにおける近代的工業労働力の形成——経済発展と文化ならびに職務意識』        | 丸川知雄  | 524 | 04.2・3 |
| 仁田道夫著『変化のなかの雇用システム』                               | 富田安信  |     |        |
| 石田光男著『仕事の社会科学——労働研究のフロンティア』                       | 松村文人  |     |        |
| 東京大学労働法研究会編『注釈 労働基準法 上巻・下巻』                       | 根本 到  | 525 | 04.4   |
| 中馬宏之監修／キャブラン研究会編『中高年再就職事例研究——成功・失敗100事例の要因分析から学ぶ』 | 村松久良光 |     |        |
| 禹宗杭著『「身分の取引」と日本の雇用慣行——国鉄の事例分析』                    | 勝俣達也  |     |        |
| 大沢真知子／スーザン・ハウスマン編著『働き方の未来——非典型労働の日米欧比較』           | 高山与志子 | 526 | 04.5   |
| 依光正哲編著『国際化する日本の労働市場』                              | 渡邊博顕  |     |        |
| 駒村康平著『年金はどうなる——家族と雇用が変わる時代』                       | 小川 浩  | 527 | 04.6   |
| 松繁寿和編著『大学教育効果の実証分析——ある国立大学卒業生たちのその後』              | 小塩隆士  | 528 | 04.7   |
| 首藤若菜著『統合される男女の職場』                                 | 金野美奈子 |     |        |
| 渡辺秀樹・稲葉昭英・嶋崎尚子編『現代家族の構造と変容——全国家族調査[NFR98]による計量分析』 | 岩上真珠  | 529 | 04.8   |
| 樋口美雄・太田清・家計経済研究所編『女性たちの平成不況——デフレで働き方・暮らしはどう変わったか』 | 脇坂 明  |     |        |
| 柴山恵美子・中曾根佐織編著『EUの男女均等政策』                          | 塚崎裕子  | 530 | 04.9   |
| 玄田有史著『ジョブ・クリエイション』                                | 小滝一彦  |     |        |
| 本田由紀編『女性の就業と親子関係——母親たちの階層戦略』                      | 永井暁子  | 531 | 04.10  |

|   |        |     |        |
|---|--------|-----|--------|
| 柳田雅明著『イギリスにおける「資格制度」の研究』  | 八代充史   | 532 | 04.11  |
| 岡伸一著『失業保障制度の国際比較』   | 高島淳子   |     |        |
| 厚生労働省編『平成16年版 労働経済白書——雇用の質の充実を通じた豊かな生活の実現に向けた課題』                  | 久保克行   | 533 | 04.12  |
| 都留康・電機連合総合研究センター編『選択と集中——日本の電機・情報関連企業における実態分析』                    | 久本憲夫   | 535 | 05.1   |
| 濱口桂一郎著『労働法政策』   | 和田 肇   |     |        |
| 佐藤(粒来) 香著『社会移動の歴史社会学—— <sup>なりわい</sup> 生業／職業／学校』                  | 尾高煌之助  | 536 | 05.2・3 |
| 労働政策研究報告書 No.11『企業が参加する若年者のキャリア形成支援——学校・NPO・行政と連携のあり方』            | 大久保幸夫  |     |        |
| 西谷敏著『規制が支える自己決定——労働法的規制システムの再構築』                                  | 大内伸哉   | 537 | 05.4   |
| 高橋賢司著『成果主義賃金の研究』  | 藤内和公   |     |        |
| 中村圭介・前浦穂高著『行政サービスの決定と自治体労使関係』                                     | 村松岐夫   |     |        |
| 清家篤／山田篤裕著『高齢者就業の経済学』  | 高木朋代   | 538 | 05.5   |
| 中村圭介著『変わるのはいま——地方公務員改革は自らの手で』                                     | 松尾孝一   |     |        |
| 白波瀬佐和子著『少子高齢社会のみえない格差——ジェンダー・世代・階層のゆくえ』                           | 橋木俊詔   | 539 | 05.6   |
| 労働政策研究・研修機構編 労働政策研究報告書 No.12『就業形態の多様化と社会労働政策——個人業務委託とNPO就業を中心として』 | 松原 明   |     |        |
| 佐藤博樹／佐藤厚編『仕事の社会学——変貌する働き方』  | 藤本 真   |     |        |
| 山田昌弘著『希望格差社会——「負け組」の絶望感が日本を引き裂く』                                  | 本田由紀   | 540 | 05.7   |
| 小杉礼子編『フリーターとニート』  | 堀田聰子   |     |        |
| 中田照子編著『国際比較・働く父母の生活時間——育児休業と保育所』                                  | 矢野真和   | 541 | 05.8   |
| 本田由紀著『若者と仕事——「学校経由の就職」を超えて』                                       | 安田 雪   |     |        |
| 山口幸雄・三代川三千代・難波孝一編『労働事件審理ノート』                                      | 安西 愈   |     |        |
| J. C. メセンジャー編『先進工業国における労働時間と労働者の選好』                               | 鈴木宏昌   | 542 | 05.9   |
| 大竹文雄著『日本の不平等——格差社会の幻想と未来』   | 白波瀬佐和子 |     |        |
| 国立社会保障・人口問題研究所編『子育て世帯の社会保障』                                       | 森田陽子   |     |        |
| 中村圭介／石田光男編『ホワイトカラーの仕事と成果——人事管理のフロンティア』                            | 今野浩一郎  | 543 | 05.10  |
| 藤本昌代著『専門職の転職構造——組織準拠性と移動』   | 村上由紀子  |     |        |
| 木村保茂／永田萬享著『転換期の人材育成システム』  | 久本憲夫   | 545 | 05.12  |
| 大久保武著『日系人の労働市場とエスニシティ——地方工業都市に就労する日系ブラジル人』                        | 佐野 哲   |     |        |
| 白木三秀編著『チャイナ・シフトの人的資源管理』   | 水野順子   | 546 | 06.1   |
| 柴山恵美子／藤井治枝／守屋貴司編著『世界の女性労働——ジェンダー・バランス社会の創造へ』                      | 大沢真知子  |     |        |
| マーカス・レビック著『日本の雇用制度——新たな経済環境への適応』                                  | 小倉一哉   | 547 | 06.2・3 |

|  |              |     |       |
|--|--------------|-----|-------|
| サンフォード・M. ジャコービィ著『日本の人事部・アメリカの人事部——日米企業のコーポレート・ガバナンスと雇用関係』           | 稲上 毅         |     |       |
| 森ます美著『日本の性差別賃金——同一価値労働同一賃金原則の可能性』                                    | 富田安信         |     |       |
| 玄田有史著『働く過剰——大人のための若者読本』  | 田中俊英         |     |       |
| 阿部正浩著『日本経済の環境変化と労働市場』  | 照山博司         | 549 | 06.4  |
| 森廣正著『ドイツで働いた日本人炭鉱労働者——歴史と現実』   | 佐藤 忍         |     |       |
| 品田充儀編著, 倉本幹男/モーリー・ガンダーソン/ダグラス・ハイアット著『労災保険とモラル・ハザード——北米労災補償制度の法・経済分析』 | 太田聰一         | 550 | 06.5  |
| 水町勇一郎著『集団の再生——アメリカ労働法制の歴史と理論』  | 中窪裕也         |     |       |
| 柳屋孝安著『現代労働法と労働者概念』   | 岩永昌晃         |     |       |
| 和田正武/安保哲夫編著『中東欧の日本型経営生産システム——ポーランド・スロバキアでの受容』                        | 石川晃弘         | 551 | 06.6  |
| 巖善平著『中国の人口移動と民工——マクロ・ミクロ・データに基づく計量分析』                                | 中村良二         |     |       |
| 樋口美雄/児玉俊洋/阿部正浩編著『労働市場設計の経済分析——マッチング機能の強化に向けて』                        | 佐々木勝         |     |       |
| 稲上毅著『ポスト工業化と企業社会』  | D. H. ウィッタカー | 552 | 06.7  |
| 大竹文雄著『経済学的思考のセンス——お金がない人を助けるには』                                      | 諏訪康雄         |     |       |
| 石川晃弘編著『体制移行期チェコの雇用と労働』   | 笠原清志         |     |       |
| 松島静雄監修, 石川晃弘/川喜多喬/田所豊策編著『東京に働く人々——労働現場調査 20 年の成果から』                  | 下田健人         |     |       |
| 白波瀬佐和子編『変化する社会の不平等——少子高齢化にひそむ格差』                                     | 小塩隆士         | 553 | 06.8  |
| 河野稜著『イタリアにおける労使関係の再構成——1990年代』                                       | 小西康之         |     |       |
| 石川晃弘/白石利政編著『国際比較からみた日本の職場と労働生活』                                      | 呉 学 殊        |     |       |
| 渡辺賢著『公務員労働基本権の再構築』   | 川田琢之         | 554 | 06.9  |
| 筒井美紀著『高卒労働市場の変貌と高校進路指導・就職斡旋における構造と認識の不一致——高卒就職を切り拓く』                 | 石田 浩         | 555 | 06.10 |
| 武石恵美子著『雇用システムと女性のキャリア』   | 浅海典子         |     |       |
| 浅海典子著『女性事務職のキャリア拡大と職場組織』   | 松原光代         |     |       |
| 小杉礼子/堀有喜衣編『キャリア教育と就業支援——フリーター・ニート対策の国際比較』                            | 樋口明彦         | 556 | 06.11 |
| 前田信彦著『アクティブ・エイジングの社会学——高齢者・仕事・ネットワーク』                                | 藤村博之         |     |       |
| 小池和男編/監修『プロフェッショナルの人材開発』   | 大久保幸夫        |     |       |
| 道幸哲也著『労使関係法における誠実と公正』  | 奥野 寿         | 557 | 06.12 |
| 醍醐聰著『労使交渉と会計情報——日本航空における労働条件の不利益変更をめぐる経営と会計』                         | 藤本 真         |     |       |
| 中村圭介著『成果主義の真実』   | 猪木武徳         | 558 | 07.1  |
| バーバラ・エーレンライク著/曾田和子訳『ニッケル・アンド・ダイヤモンド——アメリカ下流社会の現実』                    |              |     |       |

|  |       |     |        |
|--|-------|-----|--------|
| ポリリー・トインビー著／椋田直子訳『ハードワーク——低賃金で働くということ』             | 森岡孝二  | 559 | 07.2・3 |
| 橘木俊詔／浦川邦夫著『日本の貧困研究』                                | 駒村康平  |     |        |
| 黒田祥子／山本勲著『デフレ下の賃金変動——名目賃金の下方硬直性と金融政策』              | 安井健悟  |     |        |
| 佐藤博樹／堀有喜衣／堀田聰子著『人材育成としてのインターンシップ——キャリア教育と社員教育のために』 | 永野 仁  | 561 | 07.4   |
| 島田章著『外国人労働者流入と経済厚生』                                | 後藤純一  |     |        |
| 乾彰夫編著『不安定を生きる若者たち——日英比較 フリーター・ニート・失業』              | 本田由紀  |     |        |
| 平野光俊著『日本型人事管理——進化型の発生プロセスと機能性』                     | 松山一紀  |     |        |
| 佐藤博樹／大木栄一／堀田聰子著『ヘルパーの能力開発と雇用管理——職場定着と能力発揮に向けて』     | 森ます美  | 562 | 07.5   |
| 岩田憲治著『人事労務管理制度の形成過程——高度成長と労使協議』                    | 田口和雄  |     |        |
| 堀有喜衣編『フリーターに滞留する若者たち』                              | 白井利明  | 563 | 07.6   |
| 乙部由子著『中高年女性のライフサイクルとパートタイム』                        | 禿あや美  |     |        |
| 柳澤武著『雇用における年齢差別の法理』                                | 奥山明良  | 564 | 07.7   |
| 大内伸哉著『労働者代表法制に関する研究』                               | 浜村 彰  | 565 | 07.8   |
| 村串仁三郎著『大正昭和期の鉱夫同職組合「友子」制度——続・日本の伝統的労資関係』           | 梅崎 修  |     |        |
| 白木三秀著『国際人的資源管理の比較分析——「多国籍内部労働市場」の視点から』             | 竹内規彦  | 566 | 07.9   |
| 辻勝次編著『キャリアの社会学——職業能力と職業経歴からのアプローチ』                 | 鈴木竜太  |     |        |
| 藤本茂著『米国雇用平等法の理念と法理』                                | 浜田富士郎 | 567 | 07.10  |
| 河西宏祐著『電産の興亡（一九四六年～一九五六年）——電産型賃金と産業別組合』             | 鈴木不二一 |     |        |
| 吉川徹著『学歴と格差・不平等——成熟する日本型学歴社会』                       | 原 純輔  | 568 | 07.11  |
| 佐藤厚編著『業績管理の変容と人事管理——電機メーカーにみる成果主義・間接雇用化』           | 久本憲夫  |     |        |
| 戎野淑子著『労使関係の変容と人材育成』                                | 藤村博之  |     |        |
| 吉田美喜夫著『タイ労働法研究序説』                                  | 香川孝三  | 569 | 07.12  |
| 西成田豊著『近代日本労働史——労働力編成の論理と実証』                        | 山下 充  |     |        |
| 熊沢誠著『格差社会ニッポンで働くということ——雇用と労働のゆくえをみつめて』             | 八代尚宏  | 570 | 08.1   |
| 山田久著『ワーク・フェア——雇用劣化・階層社会からの脱却』                      | 諏訪康雄  |     |        |
| 帖佐隆著『職務発明制度の法律研究』                                  | 横山久芳  |     |        |
| 本田一成著『チェーンストアのパートタイマー——基幹化と新しい労使関係』                | 脇坂 明  | 572 | 08.2・3 |
| 野村正実著『日本的雇用慣行——全体像構築の試み』                           | 山田 久  |     |        |
| 小倉一哉著『エンドレス・ワーカーズ——働きすぎ日本人の実像』                     | 笹島芳雄  | 573 | 08.4   |
| 井上雅雄著『文化と闘争——東宝争議 1946-1948』                       | 仁田道夫  |     |        |
| 義村敦子著『基礎研究者の職務関与と人的資源管理』                           | 安藤史江  |     |        |

|  |       |     |        |
|--|-------|-----|--------|
| 樋口美雄・村上義昭・鈴木正明・国民生活金融公庫総合研究所編著『新規開業企業の成長と撤退』     | 川上淳之  |     |        |
| 小杉礼子編『大学生の就職とキャリア——「普通」の就活・個別の支援』                | 小方直幸  | 574 | 08.5   |
| 田端博邦著『グローバルゼーションと労働世界の変容——労使関係の国際比較』             | 村杉靖男  |     |        |
| 奥津真里著『失業者の求職行動と意識——再就職支援のあり方を探る』                 | 吉田恵子  | 575 | 08.6   |
| 大橋範雄著『派遣労働と人間の尊厳——使用者責任と均等待遇原則を中心に』              | 中内 哲  | 576 | 08.7   |
| 荒木尚志・大内伸哉・大竹文雄・神林龍編『雇用社会の法と経済』                   | 濱口桂一郎 | 577 | 08.8   |
| 武田晴人著『仕事と日本人』                                    | 齋藤 修  |     |        |
| 福谷正信著『研究開発技術者の人事管理』                              | 尹 諒 重 |     |        |
| 阿部彩・國枝繁樹・鈴木亘・林正義著『生活保護の経済分析』                     | 駒村康平  | 578 | 08.9   |
| 吉川徹編著『階層化する社会意識——職業とパーソナリティの計量社会学』               | 平田周一  |     |        |
| 大沢真知子著『ワークライフシナジー——生活と仕事の〈相互作用〉が変える企業社会』         | 小倉一哉  |     |        |
| 櫻庭涼子著『年齢差別禁止の法理』                                 | 山川和義  | 579 | 08.10  |
| 木村保茂・藤澤健二・永田萬享・上原慎一著『鉄鋼業の労働編成と能力開発』              | 青木宏之  |     |        |
| 川喜多喬著『中小製造業の経営行動と人的資源——事業展開を支える優れた人材群像』          | 小池和男  | 580 | 08.11  |
| 笹島芳雄著『最新アメリカの賃金・評価制度——日米比較から学ぶもの』                | 守島基博  |     |        |
| 丹野清人著『越境する雇用システムと外国人労働者』                         | 渡邊博顕  |     |        |
| 早矢仕不二夫著、梅崎修・島西智輝・南雲智映編『早矢仕不二夫オーラルヒストリー——戦後労働史研究』 | 鈴木不二一 | 581 | 08.12  |
| 川口章著『ジェンダー経済格差』                                  | 安部由起子 |     |        |
| 神林龍編著『解雇規制の法と経済——労使の合意形成メカニズムとしての解雇ルール』          | 安藤至大  |     |        |
| 小池和男著『海外日本企業の人材形成』                               | 藤本隆宏  | 582 | 09.1   |
| 高木朋代著『高齢者雇用のマネジメント——必要とされ続ける人材の育成と活用』            | 田尾雅夫  |     |        |
| 石塚史樹著『現代ドイツ企業の管理層職員の形成と変容』                       | 竹内治彦  |     |        |
| 早川智津子著『外国人労働の法政策』                                | 紺屋博昭  | 584 | 09.2・3 |
| 森戸英幸・水町勇一郎編著『差別禁止法の新展開——ダイバーシティの実現を目指して』         | 川田知子  |     |        |
| 萩原久美子著『「育児休職」協約の成立——高度成長期と家族的責任』                 | 坂爪洋美  |     |        |
| 山口一男著『ダイバーシティ——生きる力を学ぶ物語』                        | 大沢真知子 | 585 | 09.4   |
| 葉山滉著『フランスの経済エリート——カードル階層の雇用システム』                 | 鈴木宏昌  |     |        |
| 橘木俊詔著『女女格差』                                      | 川口 章  |     |        |
| 中北浩爾著『日本労働政治の国際関係史 1945-1964 ——社会民主主義という選択肢』     | 久米郁男  | 586 | 09.5   |

|   |       |     |        |
|---|-------|-----|--------|
| 塚崎裕子著『外国人専門職・技術職の雇用問題——職業キャリアの観点から』                     | 上林千恵子 |     |        |
| メアリー・C. プリントン著／玄田有史解説・池村千秋訳『失われた場を探して——ロストジェネレーションの社会学』 | 堀有喜衣  | 587 | 09.6   |
| 田中堅一郎著『荒廃する職場／反逆する従業員——職場における従業員の反社会的行動についての心理学的研究』     | 鈴木竜太  |     |        |
| 佐藤博樹・武石恵美子編『人を活かす企業が伸びる——人事戦略としてのワーク・ライフ・バランス』          | 藤本哲史  |     |        |
| 伊藤健市・関口定一編著『ニューディール労働政策と従業員代表制——現代アメリカ労使関係の歴史的前提』       | 長沼秀世  | 588 | 09.7   |
| 仁田道夫・久本憲夫編『日本的雇用システム』                                   | 平野光俊  |     |        |
| 遠藤昇三著『「戦後労働法学」の理論転換』                                    | 三井正信  |     |        |
| 西村純子著『ポスト育児期の女性と働き方』                                    | 奥津真里  | 589 | 09.8   |
| 西川真規子著『ケアワーク 支える力をどう育むか』                                | 三井さよ  |     |        |
| 河野英子著『ゲストエンジニア——企業間ネットワーク・人材形成・組織能力の連鎖』                 | 内田恭彦  | 590 | 09.9   |
| 橋木俊詔・松浦司著『学歴格差の経済学』                                     | 小塩隆士  | 591 | 09.10  |
| 山本寛著『人材定着のマネジメント——経営組織のリテンション研究』                        | 竹内規彦  | 592 | 09.11  |
| 栢田大知彦著『ワイマール期ドイツ労働組合史——職業別から産業別へ』                       | 乗杉澄夫  | 593 | 09.12  |
| 寺田盛紀著『日本の職業教育——比較と移行の視点に基づく職業教育学』                       | 谷口雄治  | 594 | 10.1   |
| 白波瀬佐和子著『日本の不平等を考える——少子高齢社会の国際比較』                        | 浦川邦夫  |     |        |
| ヘンドリック・マイヤーオーレ著『変貌する日本の職場環境——労働者の視点から』                  | 小野 浩  |     |        |
| 大藪毅著『長期雇用制組織の研究——日本的人材マネジメントの構造』                        | 藤本雅彦  | 596 | 10.2・3 |
| 黒崎卓著『貧困と脆弱性の経済分析』                                       | 稲倉典子  |     |        |
| 中村二郎・内藤久裕・神林龍・川口大司・町北朋洋著『日本の外国人労働力——経済学からの検証』           | 澤田康幸  | 597 | 10.4   |
| 石田光男・樋口純平著『人事制度の日米比較——成果主義とアメリカの現実』                     | 梅崎 修  |     |        |
| 渡辺めぐみ著『農業労働とジェンダー——生きがいの戦略』                             | 奥津真里  | 598 | 10.5   |
| 三善勝代著『転勤と既婚女性のキャリア形成』                                   | 牛尾奈緒美 |     |        |
| 道中隆著『生活保護と日本型ワーキングプア』                                   | 周 燕飛  | 599 | 10.6   |
| OECD 編著／平井文三監訳『公務員制度改革の国際比較』                            | 前浦穂高  |     |        |

## 書評論文

|  |          |     |       |
|--|----------|-----|-------|
| 労働の法と経済学——大竹文雄・大内伸哉・山川隆一編『解雇法制を考える——法学と経済学の視点』 | 神林 龍     | 518 | 03.9  |
| 中村圭介／連合生活総合開発研究所編『衰退か再生か——労働組合活性化への道』          | ロナルド・ドーア | 544 | 05.11 |

都留康・阿部正浩・久保克行著『日本企業の人事改革——人事データによる成果主義の検証』と松繁寿和・梅崎修・中嶋哲夫編著『人事の経済分析——人事制度改革と人材マネジメント』を読む  
 雇用法制を巡って 福井秀夫・大竹文雄編著『脱格差社会と雇用法制——法と経済学で考える』  
 田口典男著『イギリス労使関係のパラダイム転換と労働政策』と上田眞士著『現代イギリス労使関係の変容と展開——個別管理の発展と労働組合』を読む  
 経済発展の実証と理論——斎藤修著『比較経済発展論——歴史的アプローチ』

|            |     |        |
|------------|-----|--------|
| 佐藤 厚       | 547 | 06.2・3 |
| 江口匡太, 神林 龍 | 572 | 08.2・3 |
| 小笠原浩一      | 576 | 08.7   |
| 神林 龍       | 586 | 09.5   |

## 読書ノート

岩崎馨著『日本の労働組合の現状と課題』  
 橋本俊詔著『安心の経済学』  
 福岡道生著『人を生かす！—現場からの経営労務史』  
 熊沢誠著『リストラとワークシェアリング』  
 久本憲夫著『正社員ルネサンス——多様な雇用から多様な正社員へ』  
 今野浩一郎編著『個と組織の成果主義』  
 金井壽宏著『キャリア・デザイン・ガイド——自分のキャリアをうまく振り返り展望するために』  
 守島基博著『人材マネジメント入門』  
 藤村博之・岩尾啓一・坂尾晃司著『強い会社をつくるキャリア戦略——会社と個人の「しあわせ探し」』  
 田中夏子・杉村和美著『現場発 スローな働き方と出会う』  
 佐藤博樹・武石恵美子著『男性の育児休業——社員のニーズ、会社のメリット』  
 佐藤博樹編著『パート・契約・派遣・請負の人材活用』  
 日本経済新聞社編『働くということ』  
 橋本俊詔編著, 荻谷剛彦・斎藤貴男・佐藤俊樹著『封印される不平等』  
 国民生活金融公庫総合研究所編『自営業再考——自ら働く場を創出する「自己雇用者」』  
 樋口兼次著『労働資本とワーカーズ・コレクティブ』  
 ロナルド・ドーア著『働くということ——グローバル化と労働の新しい意味』  
 願興寺皓之著『トヨタ労使マネジメントの輸出——東アジアへの移転過程と課題』  
 佐藤博樹／佐藤厚／大木栄一／木村琢磨著『団塊世代のライフデザイン——決して一律でない就業志向と、夫婦間の思惑の差』  
 小池和男／洞口治夫編『経営学のフィールド・リサーチ——「現場の達人」の実践的調査手法』  
 大沢真知子著『ワークライフバランス社会へ——個人が主役の働き方』  
 清家篤著『エイジフリー社会を生きる』

|      |     |        |
|------|-----|--------|
| 藤村博之 | 502 | 02.5   |
| 金子能宏 | 508 | 02.11  |
| 岩崎 馨 | 509 | 02.12  |
| 脇坂 明 | 517 | 03.8   |
| 末吉武嘉 | 519 | 03.10  |
| 瀬尾明洋 | 520 | 03.11  |
| 武田圭太 | 527 | 04.6   |
| 中島 豊 | 528 | 04.7   |
| 横倉 馨 | 531 | 04.10  |
| 小倉一哉 | 533 | 04.12  |
| 田中恭代 |     |        |
| 二宮大祐 | 535 | 05.1   |
| 浅川正健 | 537 | 05.4   |
| 太田 清 | 536 | 05.2・3 |
| 馬 駿  | 538 | 05.5   |
| 神林 龍 | 541 | 05.8   |
| 熊沢 誠 | 543 | 05.10  |
| 藤村博之 | 550 | 06.5   |
| 戎野淑子 | 552 | 06.7   |
| 中島敬方 | 553 | 06.8   |
| 小倉一哉 | 554 | 06.9   |
| 黒澤 裕 | 555 | 06.10  |

|  |       |     |        |
|--|-------|-----|--------|
| 大久保幸夫編著『正社員時代の終焉——多様な働き手のマネジメント手法を求めて』               | 木村登志男 | 556 | 06.11  |
| 萩原久美子著『迷走する両立支援——いま、子どもをもって働くということ』                  | 柿 眞木  | 559 | 07.2・3 |
| 岡本浩一／堀洋元／鎌田晶子／下村英雄著『職業的使命感のマネジメント——ノブレス・オブリジュの社会技術』  | 大木栄一  |     |        |
| 中野麻美著『労働ダンピング——雇用の多様化の果てに』                           | 水島郁子  | 561 | 07.4   |
| 水町勇一郎編『個人か集団か？ 変わる労働と法』                              | 西谷 敏  | 562 | 07.5   |
| ロナルド・ドーア著『誰のための会社にするか』                               | 佐山展生  | 563 | 07.6   |
| デイヴィッド・K. シプラー著／森岡孝二・川人博・肥田美佐子訳『ワーキング・プア——アメリカの下層社会』 | 小倉一哉  | 564 | 07.7   |
| 水谷英夫著『職場のいじめ——「パワハラ」と法』                              | 柏崎洋美  |     |        |
| 大内伸哉著『雇用社会の25の疑問——労働法再入門』                            | 川口大司  | 566 | 07.9   |
| 有村貞則著『ダイバーシティ・マネジメントの研究——在米日系企業と在日米国企業の実態調査を通して』     | 馬越恵美子 |     |        |
| 稲上毅・連合総合生活開発研究所編『労働CSR——労使コミュニケーションの現状と課題』           | 寺崎文勝  | 567 | 07.10  |
| 水月昭道著『高学歴ワーキングプア——「フリーター生産工場」としての大学院』                | 小林信一  | 574 | 08.5   |
| 佐藤博樹・小泉静子著『不安定雇用という虚像——パート・フリーター・派遣の実像』              | 中野麻美  | 575 | 08.6   |
| 若林直樹・松山一紀編『企業変革の人材マネジメント』                            | 嶋木利哉  | 579 | 08.10  |
| 村田毅之著『日本における労使紛争処理制度の現状』                             | 紺屋博昭  | 581 | 08.12  |
| 小池和男著『日本産業社会の「神話」——経済自虐史観をただす』                       | 願興寺脂之 | 589 | 09.8   |
| 小島典明著『職場の法律は小説より奇なり』                                 | 荻野勝彦  | 590 | 09.9   |
| 水谷英夫著『ジェンダーと雇用の法』                                    | 笹沼朋子  | 591 | 09.10  |
| 大内伸哉著『キーワードからみた労働法』                                  | 廣石忠司  | 592 | 09.11  |
| 吉川徹著『学歴分断社会』   | 赤林英夫  | 593 | 09.12  |
| 濱口桂一郎著『新しい労働社会——雇用システムの再構築へ』                         | 江口匡太  |     |        |
| 下村英雄著『キャリア教育の心理学』                                    | 長須正明  | 594 | 10.1   |
| 本田由紀著『教育の社会的意義——若者、学校、社会をつなぐ』                        | 西村幸満  | 598 | 10.5   |
| 白井利明・下村英雄・川崎友嗣・若松養亮・安達智子著『フリーターの心理学——大卒者のキャリア自立』     | 小島貴子  |     |        |

## 論文 Today

|  |       |     |      |
|--|-------|-----|------|
| ポテロ他「労働市場規制の強さは法の起源で決められている」   | 安井健悟  | 538 | 05.5 |
| C. ジョルス「伝統的な『反差別法』(antidiscrimination law)と新しい『便宜法』(accommodation law)との類似性」 | 長谷川珠子 | 539 | 05.6 |
| T. W. リー／T. R. ミッチェル「人が組織から離れるとき——自発的離職行動のメカニズム」                             | 西村孝史  | 540 | 05.7 |
| Ö. B. ボドゥフアッソン／R. L. ウォーカー「親からの現金移転はその子の大学におけるパフォーマンスを低下させるのか」               | 大谷 剛  | 541 | 05.8 |
| W. フリーソン「パーソナリティはどこに存在するのか——状況論・特性論の新たな架け橋を求めて」                              | 深町珠由  | 542 | 05.9 |

|   |       |     |        |
|---|-------|-----|--------|
| P. クーン／C. ワインバーガー「リーダーシップ能力は賃金を高めるのか」   | 佐野晋平  | 543 | 05.10  |
| C. エストランド「自己規制の時代における職場の法の再構築」  | 神吉知都子 | 544 | 05.11  |
| P. カペリ／D. ニューマーク「外部雇用調整と内部柔軟性——とりわけ機能的柔軟性と中核・周辺仮説について」                              | 玉井芳郎  | 545 | 05.12  |
| D. E. ボウエン／C. オストロフ「人材マネジメントと企業業績との間のブラックボックスを開く『組織風土』」                             | 鳥取部真己 | 546 | 06.1   |
| B. ハース「ワーク・ケア・バランス——国際比較のための類型論を特定できるか」   | 中島ゆり  | 547 | 06.2・3 |
| T. バスレー／R. バージェス「労働規制は経済パフォーマンスを悪化させるか？——インドの実証分析より」                                | 奥平寛子  | 549 | 06.4   |
| M. バルベラ「平等の挑戦」  | 大木正俊  | 550 | 06.5   |
| T. ヴァハター／S. ベンダー「若年期の離職経験は、永続的な賃金損失を生むか？——ドイツの徒弟データを用いた実証分析」                        | 町北朋洋  | 551 | 06.6   |
| G. クンダ／S. R. バーレー／J. エヴァンス「非正規労働のジレンマ——高スキル契約社員のエスノグラフィー」                           | 島貴智行  | 552 | 06.7   |
| A. R. ホックシールド「市場文化の家族文化への侵入——親業コンサルティングサービスの事例と働く親たちへのインタビューをもとに」                   | 岩脇千裕  | 553 | 06.8   |
| S. E. ブラックほか「長男・長女は得をする？：子供の数と出生順位による教育格差——ノルウェーの事例から」                              | 梅野祐樹  | 554 | 06.9   |
| M. ビアー／M. D. キヤノン「アメリカ企業の経験した成果給の導入と挫折」   | 樋口純平  | 555 | 06.10  |
| W. R. コルベット「限定的に解釈されつつある全国労働関係法」  | 木南直之  | 556 | 06.11  |
| R. コールドウェル他「企業による HRM 活用の進展について——理想と現実のギャップ」  | 尹 諒 重 | 557 | 06.12  |
| N. キム「従業員のキャリア開発に影響を与える組織施策——キャリア志向性との関係から」   | 藤波美帆  | 558 | 07.1   |
| J. ディナルド／D. S. リー「近年の組合化は企業に経済的影響を及ぼしているか？——Regression Discontinuity Design による推定」  | 横山 泉  | 559 | 07.2・3 |
| M. トンプソン／P. ヘロン「R&D 部門のイノベーションを高めるための条件とは？——仕組みか、意識か」                               | 加藤豊子  | 561 | 07.4   |
| H. ピエッコラほか「成果主義は機能しているのか——その効果と、これからの研究への示唆」  | 宮本 大  | 562 | 07.5   |
| C. エストランド「制定法上の権利と契約の関係——雇用関係法におけるハイブリッド形態」   | 石田信平  | 563 | 07.6   |
| U. E. ハールベリイ／W. B. シャウフェリ「ワーク・エンゲージメントはジョブ・インボルブメントや組織コミットメントと弁別可能なのか？——隣接する諸概念の整理」 | 鎌倉哲史  | 564 | 07.7   |
| F. クーニャ／J. J. ヘックマン「子供の能力形成に関する経済分析」  | 戸田淳仁  | 565 | 07.8   |
| J. パーセル／S. ハチンソン「ライン管理職により規定される人材マネジメントの効果」   | 江夏幾多郎 | 566 | 07.9   |

|   |       |     |        |
|---|-------|-----|--------|
| J. H. ギッテル/A. フォン・ノルデンフリユクト/T. A. コーハン「相互利益かゼロサムか?—アメリカ航空業における労使関係と企業パフォーマンス」 | 鈴木 誠  | 567 | 07.10  |
| J. バルテレミー/G. セット「フランス労働法の規制緩和にともなう協約規範の役割の増大」                                 | 桑村裕美子 | 568 | 07.11  |
| H. M. レビン/Z. シュ, 蔣世民「現代中国における高等教育卒業生就職難問題—高等教育と労働市場との関わりからみる」                 | 寺崎里水  | 569 | 07.12  |
| R. シャイマー「ミスマッチ—失業と欠員についての分析」  | 相澤直貴  | 570 | 08.1   |
| J. G. ウィリアムズ「HR 慣行, 組織環境, 従業員の成果—地方自治体における社会的交換関係の評価」                         | 熊迫真一  | 572 | 08.2・3 |
| D. オーター/S. ハウスマン「派遣雇用—貧困から脱出する手段となるか?」  | 金井 郁  | 573 | 08.4   |
| P. コーティ/G. マーシュク「公的部門における成果主義に対する戦略的行動—実証的検討」                                 | 富岡 淳  | 574 | 08.5   |
| 「現代型雇用差別に対する新たな法的アプローチとその課題」  | 所 浩代  | 575 | 08.6   |
| 「個と公—個人レベルの情動が集団レベルでの情動に集約される瞬間」  | 中島由佳  | 576 | 08.7   |
| 「アフターマティブ・アクションは何をしたか」  | 高田しのぶ | 577 | 08.8   |
| 「子どものケガや病気に対して母親の就労が与える影響」  | 四方理人  | 578 | 08.9   |
| 「職務設計論の再検討」   | 森永雄太  | 579 | 08.10  |
| 「フランス『労働市場の現代化』に関する労使協定—『フレキシキュリティ』は労働法を侵食するのか?それとも再構築するのか?」                  | 細川 良  | 580 | 08.11  |
| 「パブリックセクターにおける障害者の雇用(1998-2004年)」   | 木村祐子  | 581 | 08.12  |
| 「企業内の賃金変動と昇進を説明する最大公約数的モデル構築の試み」  | 天利 浩  | 582 | 09.1   |
| 「タレント・マネジメントは人的資源管理の新展開になりうるか?」   | 厨子直之  | 584 | 09.2・3 |
| 「任意規定や雇用慣行の在り方が労働契約に与える影響—任意規定の「固着性」についての分析」                                  | 坂井岳夫  | 585 | 09.4   |
| 「仕事上の裁量は, 仕事と仕事以外との境界をあいまいにするか?—仕事と家庭生活との両立を阻害する新たな可能性」                       | 高見具広  | 586 | 09.5   |
| 「不安定な労働・不安な労働者—過渡期における雇用関係」   | 高久聡司  | 587 | 09.6   |
| 「労働時間の趨勢と変動—労働ウェッジによる理解の試み」   | 村尾徹士  | 588 | 09.7   |
| 「心理的契約の代替可能性と時間の経過が従業員の態度に与える影響」  | 服部泰宏  | 589 | 09.8   |
| 「いじめ—人格保護と使用者の責任」   | 原 俊之  | 590 | 09.9   |
| 「団体交渉と参加型経営における比較分析—アメリカとドイツのコールセンターから得られた証拠に基づいて」                            | 前浦穂高  | 591 | 09.10  |
| 「欧州における労働統合型社会的企業の現況」   | 米澤 旦  | 592 | 09.11  |
| 「低技能移民労働者の増加がサービス財価格・労働者の賃金・消費者の購買力に与えた影響」                                    | 橋本由紀  | 593 | 09.12  |
| 「自営選択とリスク選好との関係」  | 安達貴教  | 594 | 10.1   |
| 「アメリカの妊娠差別禁止法が差別の成否の判断へ与えた影響」   | 富永晃一  | 596 | 10.2・3 |

|   |      |     |      |
|---|------|-----|------|
| 「自然災害は地域労働市場にどのような影響を与えるのか？<br>——フロリダ州におけるハリケーンの影響」 | 鈴木俊光 | 597 | 10.4 |
| 「後期中等教育における職業教育は移行に対して有効か？」                         | 敦賀亮太 | 598 | 10.5 |
| 「管理職の人種と新規採用者の人種」                                   | 安田宏樹 | 599 | 10.6 |

## フィールド・アイ

|                                |       |     |        |
|--------------------------------|-------|-----|--------|
| 育児による勤務時間短縮                    | 脇坂 明  | 538 | 05.5   |
| 健康とストレス                        | 脇坂 明  | 539 | 05.6   |
| 妊娠・出産に対する差別                    | 脇坂 明  | 540 | 05.7   |
| イタリアの労働市場改革——ピアジ法の挑戦           | 大内伸哉  | 541 | 05.8   |
| イタリアにおける仮装自営業者問題               | 大内伸哉  | 542 | 05.9   |
| バカンスとストライキ——法制度と文化             | 大内伸哉  | 543 | 05.10  |
| パークレーの労働経済学                    | 川口大司  | 544 | 05.11  |
| 米国の Job Corps の経験からわれわれは何を学べるか | 川口大司  | 545 | 05.12  |
| 多様な人々、多様な食事                    | 川口大司  | 546 | 06.1   |
| オーストラリアの労働市場改革                 | 岸 智子  | 547 | 06.2・3 |
| Work for the Dole              | 岸 智子  | 549 | 07.4   |
| オーストラリアの職業教育                   | 岸 智子  | 550 | 06.5   |
| 失業か不安定雇用か？                     | 嵩さやか  | 551 | 06.6   |
| 移民の国、フランス                      | 嵩さやか  | 552 | 06.7   |
| 自由、平等、「連帯」？                    | 嵩さやか  | 553 | 07.8   |
| スウェーデンにおける経済学と政策               | 岡村和明  | 554 | 06.9   |
| スウェーデンにおける時間と格差                | 岡村和明  | 555 | 06.10  |
| スウェーデン総選挙                      | 岡村和明  | 556 | 06.11  |
| ドイツ、閉店法の行方                     | 高島淳子  | 557 | 06.12  |
| ドイツの子育て事情                      | 高島淳子  | 558 | 07.1   |
| ドイツ社会の「変容」                     | 高島淳子  | 559 | 07.2・3 |
| ブラジルの労働法と在日ブラジル人について           | 二宮正人  | 561 | 07.4   |
| ブラジルにおける労働関係の法律                | 二宮正人  | 562 | 07.5   |
| ブラジルにおける労働訴訟                   | 二宮正人  | 563 | 07.6   |
| シンガポールの外国人雇用対策                 | 竹内ひとみ | 564 | 07.7   |
| シンガポールの少子化対策                   | 竹内ひとみ | 565 | 07.8   |
| シンガポールの高齢者雇用対策                 | 竹内ひとみ | 566 | 07.9   |
| 最低賃金の引き上げ                      | 奥野 寿  | 567 | 07.10  |
| 移民労働者と移民法・労働法                  | 奥野 寿  | 568 | 07.11  |
| 政権交代と NLRB 命令の変転               | 奥野 寿  | 569 | 07.12  |
| ベトナムの労働力輸出                     | 香川孝三  | 570 | 08.1   |
| ベトナムのストライキと争議調整                | 香川孝三  | 572 | 08.2・3 |
| ベトナムの女性労働者                     | 香川孝三  | 573 | 08.4   |
| スペインの移民                        | 石原真三子 | 574 | 08.5   |
| スペインの民主化 30 年                  | 石原真三子 | 575 | 08.6   |
| シエスタの国の労働時間                    | 石原真三子 | 576 | 08.7   |
| 特殊形態勤労従事者と社会保険                 | 李 昇 烈 | 577 | 08.8   |
| 貨物連帯のストライキ/医療保険の効率化 vs. 普遍化    | 李 昇 烈 | 578 | 08.9   |
| 中産層の没落/営利法人病院を巡る論争（その後）        | 李 昇 烈 | 579 | 08.10  |
| メディアが取り上げる社会の姿                 | 小西康之  | 580 | 08.11  |
| ドイツの失業問題                       | 小西康之  | 581 | 08.12  |

|                             |      |     |        |
|-----------------------------|------|-----|--------|
| ドイツ法律家大会に参加して               | 小西康之 | 582 | 09.1   |
| ジュネーヴのアパート探し                | 奥西好夫 | 584 | 09.2・3 |
| ILO と社会的公正                  | 奥西好夫 | 585 | 09.4   |
| 「告白」通り                      | 奥西好夫 | 586 | 09.5   |
| 在中国日系企業の人材マネジメントのあり方とその課題   | 白木三秀 | 587 | 09.6   |
| 在中国日本人派遣者の現地マネジメント上の課題      | 白木三秀 | 588 | 09.7   |
| 労働契約法施行のインパクト               | 白木三秀 | 589 | 09.8   |
| ティファナからの追想                  | 苑志佳  | 590 | 09.9   |
| メキシコにおける大都市と地方都市との落差——アグアスカ | 苑志佳  | 591 | 09.10  |
| リエンテスへの旅                    |      |     |        |
| メキシコ人について                   | 苑志佳  | 592 | 09.11  |
| オーストラリアの有給出産育児休暇制度          | 坂田圭  | 593 | 09.12  |
| オーストラリアの不完全就業               | 坂田圭  | 594 | 10.1   |
| オーストラリアの出産給付制度              | 坂田圭  | 596 | 10.2・3 |
| ケニアの労使関係                    | 西浦昭雄 | 597 | 10.4   |
| ウガンダの労使関係                   | 西浦昭雄 | 598 | 10.5   |
| 南アフリカの労使関係                  | 西浦昭雄 | 599 | 10.6   |

## 追悼

|                                  |      |     |      |
|----------------------------------|------|-----|------|
| 自転車はどこへ向かったのか？——マルコ・ピアジ教授のご逝去を悼む | 諏訪康雄 | 502 | 02.5 |
|----------------------------------|------|-----|------|

## ディスカッション

|   |              |     |       |
|---|--------------|-----|-------|
| 〈コーポレート・ガバナンス改革と雇用・労働関係〉                          |              |     |       |
| ウィットカー論文をめぐって 何が変わり、何が変わっていないのか——ウィットカー論文に触発された疑問 | ロナルド・ドーア     | 507 | 02.10 |
| ドーア・コメントに対する回答                                    | D. H. ウィットカー |     |       |
| ウィットカー回答に対する再回答                                   | ロナルド・ドーア     |     |       |

## オピニオン

|                               |       |     |      |
|-------------------------------|-------|-----|------|
| 〈少子化と企業〉                      |       |     |      |
| 子供をもつかどうかは、どこまで個人の自由なのか       | 大内伸哉  | 553 | 06.8 |
| 少子化対策と企業の役割                   | 岩田喜美枝 |     |      |
| 企業と少子化                        | 奥谷禮子  |     |      |
| 少子化対策という言葉を使うのはやめよう           | 赤川学   |     |      |
| ファミリー・フレンドリー施策の普及は少子化抑制のためだけに | 脇坂明   |     |      |

## 発表

### 労働関係図書優秀賞

|  |  |     |        |
|--|--|-----|--------|
| 第25回   |  |     |        |
| 山下 充『工作機械産業の職場史 1889-1945 ——「職人わざ」に挑んだ技術者たち』早稲田大学出版部 |  | 507 | 02.10  |
| 第26回   |  |     |        |
|  |  | 524 | 04.2・3 |

|   |     |       |
|---|-----|-------|
| 清川雪彦『アジアにおける近代的工業労働力の形成——経済発展と文化ならびに職務意識』岩波書店         |     |       |
| <b>第 27 回</b>   | 531 | 04.10 |
| 権丈善一『年金改革と積極的社会保障政策——再分配政策の政治経済学Ⅱ』慶應義塾大学出版会           |     |       |
| 玄田有史『ジョブ・クリエイション』日本経済新聞社                              |     |       |
| <b>第 28 回</b>   | 543 | 05.10 |
| 該当作なし   |     |       |
| <b>第 29 回</b>   | 556 | 06.11 |
| 阿部正浩『日本経済の環境変化と労働市場』東洋経済新報社                           |     |       |
| <b>第 30 回</b>   | 568 | 07.11 |
| 平野光俊『日本型人事管理——進化型の発生プロセスと機能性』中央経済社                    |     |       |
| <b>第 31 回</b>   | 579 | 08.10 |
| 櫻庭涼子『年齢差別禁止の法理』信山社                                    |     |       |
| <b>第 32 回</b>   | 591 | 09.10 |
| 石田光男・富田義典・三谷直紀『日本自動車企業の人事・管理・労使関係——競争力を維持する組織原理』中央経済社 |     |       |

## 労働関係論文優秀賞

|   |     |        |
|---|-----|--------|
| <b>第 3 回</b>  | 507 | 02.10  |
| 黒澤晶子「中途採用市場のマッチング——満足度、賃金、訓練、生産性」『日本労働研究雑誌』499号                   |     |        |
| 白波瀬佐和子「日本の所得格差と高齢者世帯——国際比較の観点から」『日本労働研究雑誌』500号                    |     |        |
| <b>第 4 回</b>  | 524 | 04.2・3 |
| 篠崎武久、石原真三子、塩川崇年、玄田有史「パートが正社員との賃金格差に納得しない理由は何か」『日本労働研究雑誌』512号      |     |        |
| 高木朋代「高年齢者雇用と人事管理システム——雇用される能力の育成と選抜および契約転換の合意メカニズム」『日本労働研究雑誌』512号 |     |        |
| 渡邊絹子「ドイツ企業年金改革の行方——公私の役割分担をめぐって」『日本労働研究雑誌』504号                    |     |        |
| <b>第 5 回</b>  | 531 | 04.10  |
| 梶川敦子「アメリカ公正労働基準法におけるホワイトカラー・イグゼンプション」『日本労働研究雑誌』519号               |     |        |
| 宮本大「NPOの労働需要——国際および環境団体の雇用に関する実証分析」『日本労働研究雑誌』515号                 |     |        |
| <b>第 6 回</b>  | 543 | 05.10  |
| 高橋陽子「ホワイトカラー『サービス残業』の経済学的背景——労働時間・報酬に関する暗黙の契約」『日本労働研究雑誌』536号      |     |        |
| 武内真美子「女性就業のパネル分析——配偶者所得効果の再検証」『日本労働研究雑誌』527号                      |     |        |
| <b>第 7 回</b>  | 556 | 06.11  |

周燕飛「企業別データを用いた個人請負の活用動機の分析」  
『日本労働研究雑誌』547号

勇上和史「都道府県データを用いた地域労働市場の分析——  
失業・無業の地域間格差に関する考察」『日本労働研究雑誌』  
539号

#### 第8回

上原克仁「大手企業における昇進・昇格と異動の実証分析」  
『日本労働研究雑誌』561号

田中真樹「鉄鋼生産職場における一般作業者の管理能力——  
管理的業務の遂行状況と管理能力の特徴」『日本労働研究雑  
誌』559号

#### 第9回

佐々木勝「ハローワークの窓口紹介業務とマッチングの効率  
性」『日本労働研究雑誌』567号

高貫智行「派遣労働者の人事管理と労働意欲」『日本労働研究  
雑誌』566号

原ひろみ「日本企業の能力開発——70年代前半～2000年代  
前半の経験から」『日本労働研究雑誌』563号

#### 第10回

池永肇恵「労働市場の二極化——ITの導入と業務内容の変  
化について」『日本労働研究雑誌』584号

橋本由紀「日本におけるブラジル人労働者の賃金と雇用の安  
定に関する考察——ポルトガル語求人データによる分析」  
『日本労働研究雑誌』584号

568

07.11

579

08.10

591

09.10

## 資 料

JIL 労働文献目録

労働文献目録

日本労働研究雑誌／総目次 501～600号

日本労働研究機構

労働政策研究・研修機  
構

労働政策研究・研修機  
構

501～518

02.4～03.9  
各号

519～537

03.10～05.4  
各号

600

10.7